男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6－651

廓清

明治四十四年七月一日創刊
大正九年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十一年七月十五日印刷）
（大正十一年七月十五日發行）
（毎月一回十日發行）

第十二卷　六月號

□其義を正しうす……廓清會長　島田三郎
□男女共學と男女交際…同副會長　安部磯雄
□婦人運動の倫理……文學博士　藤井健治郎
□戀愛の倫理……文學博士　吉田靜致
□犯罪豫防の現代觀……法學博士　松井茂
□近畿地方公私娼……木藤冷劍
□自殺殺人家出の頻發…女子大學校長　麻生正藏
□女子に對する禮儀……府立第一高女校長　市川源三
□人心の不安を如何……救世軍大佐　山室軍平
□恐るべき社會の誘惑…活動社會課長　牧野虎次
□藝妓と風紀問題……新眞婦人會長　西川文子
□吉原病院の暴露……元吉原病院看護婦　瀧原和子

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

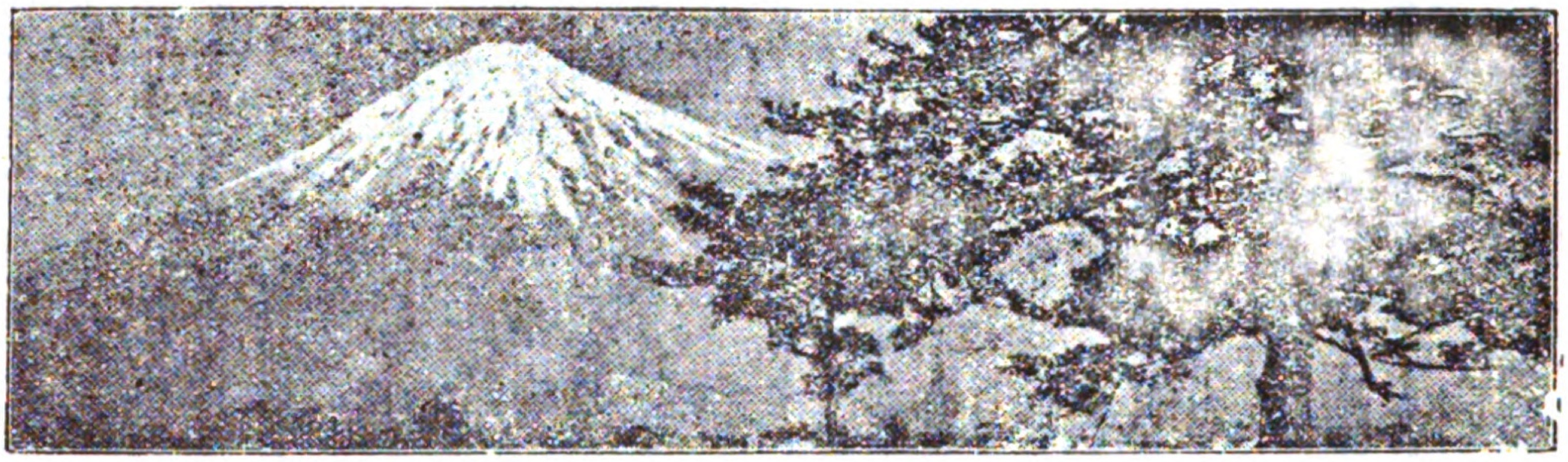
ライオン歯磨

口のきれいになるうがひ！
歯の美しくなるうがひ！
氣分のせいせいするうがひ！
そんなうがひをしようとするなら、あの芳しい香のする

ライオン水歯磨で

うがひをなさいまし。
あなたの口も、あなたの歯も
あなたの心も、あなたの元氣も、
それはそれは爽な新しさがあふれてきます。

ライオン歯磨本舗 株式 小林商店
支店 大阪
代理店 名古屋 上海



其義を正しうして其利を謀らず

廓清會長　島田三郎

古人は「其義を正しうして其利を謀らず、其道を明かにして其功を計らず」と云つたが、今日の人は是と反對に其利を謀るを知つて其義を正しうせず、其功を計ることに努めて其道を明かにせんとしない。全く顚倒して了つた。前漢二百年後漢二百年合せて四百年を通じて多くの名家が現はれたけれども、董仲舒の此言が第一であつて、從つて仲舒は此言に由つて漢代第一等の人物といふことになつてゐる。

□前漢の董仲舒と蜀漢の諸葛亮

漢は高祖が秦の後の大亂を平げて一統し、二代が惠帝三代が文帝四代が武帝であるが、此の武帝の時に董仲舒が建言した。武帝には兄があつて我儘者であつた。弟の天子は心配して良い師をつけたいといふので仲舒を家老にしたのである。其時武帝が何を以て兄王を輔佐するかと問ふたら、踏むべき道を踏み正すべき事を正して其結果を構はぬといつた。佛者の安心禪家の悟道である。人生百般のことは利害に動かされてはならぬ。それは結果であると、是が明言の一つである。

漢の天下が滅ぶる時、諸葛孔明が天下を爭ひ、名高き出師の表を書き蜀漢の第二世劉禪に上つた。「臣鞠躬努力死而止、成敗利鈍に至つては逆睹する處にあらず」云々、是が又有名であつて、世の中は正しくさへあれば安心である。氣を揉むに及ばぬ。義務を盡して心に滿足すれば其責任が濟む。と丁度前漢の興る時と蜀漢の亡んとする時と同じ言葉を名士が發してゐるのは甚だ面白い。これでこそ水火踏む可し、劍戟渉る可し。是を非とし非を是とすることが出來る者は、大變悧巧の樣であるが大なる間違である。

□西比利亞出兵は近來の大失態

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

現在表はれてゐる事柄に就て少しく說明したい。私は最近の大戰中に、日本が國として處した事て、當を得て居るか當を得て居らぬか、此事は道理上なさねばならぬといふことを爲した方が好結果を得てゐるのは、義を正し道を踏んて利を圖らなかつた方が好結果てあることの教訓を示し、此方が得が行くと思ふて利を謀つた方が却つて損失を來してゐる幾つもの例がある。中に就て日本の遣り損ひの大なるものが二つある。爲す可きを爲さず、爲す可からざるを爲した事はいくらもあるが、其最も著しく、今日も猶國の憂となつて居ることは西比利亞出兵てある。彼地に兵を出すこと程不可なることは無い。今は行つた者も悔いてゐるやう、拔くに拔かれぬのは今日の狀態である。

兵を出す機會はどうてあつたかといふと、チエックスローバック人が露西亞に捕虜になつたのが數萬人に及んだ。露西亞は捕虜にしたもの、、多數の事てはあり食はするにも困るから兵を西比利亞に追放した。さて追放されたチエックスローバック人は遠くて歸國するとも出來ず、生活の道もなく非常に窮迫した。之を救はねばならぬと米國は考へたが、道が遠いから日本も力を併せてくれと申込んて來た。當時は寺内内閣てあつたから、是こそ陸軍の功を擧ぐべき時だと考へた。米國が救ふといふのは其實何か利權を西比利亞に得るが爲めの下心であつたのかも知れぬ。人の腹を探ぐるのだから斷言は出來ぬが、兎もあれ米國は當時及ぶだけ澤山の兵を歐羅巴に出すことになつてゐたから、西比利亞には多く出せぬので七千を程度として出さうといふことになつた。日本は當時何處にも兵を出さぬ、青島も既に片がついてゐたから、之こそ功を樹つべき時として、米國に答へて、同心協力しやう。併し日本の軍隊は師團編成の上から左樣に丁度七千といふ具合には參らぬ。半端の出ない樣にするから七千よりは少し多くなるだらうといふ。

巧みな外交的辭令を用ゐた。蓋し其當時の腹は、兵を出せばあはよくば占領した處は日本の手に入るかも知れぬと、外交に暗く公法に疎いからいつ迄も昔の樣に考へてゐた、西比利亞の出兵は利源を探る便宜がある。日本の富豪に森林、鑛山其他の調べをする樣に陸軍で慫慂したといふ事さへ承つた、斯くして日本は七千どころか七萬五千の兵を出した。バイカル以東は日本のものになるかも知れぬと思つたのである。米國も是は意外に思つた、其の内露西亞の内部が亂れ、レーニン政府が起り、其處には一揆の樣なもの、パルチザンの如きものが起る、而も何等香ばしいことはない。過激派が赤兵で反過激派が白兵でその衝突が起る。レーニン政府に取つては白兵は反逆人である。日本はその白兵軍に同情する。是が混雜して盡くる處を知らぬ有樣で、其内チエック救援の事業は濟んで、米國は兵を引上げた。然るに日本の兵は引上げない。日本も此時に我事畢れりしとて引上げれば良かつたが、白兵は弱く赤軍は強いから、露領の安定しないといふ理由て止つた。或はその引上げぬ理由を米國は遠く海を隔てゝゐるが日本は近いからその影響が直接に及ぶ爲め引上げられぬ。或は日本の出稼人が相當にゐるから其居留民保護の爲めといふ。殆んど方途がない。その内にはニコライエフスクの慘殺がある。約七八百の日本人は之に死した。而も外國からは、野心の爲めに出兵してゐるだらうと、華府會議に於てもゼネバの會議に於ては、腹を探られた、又英吉利の社會黨、勞働黨が、日本は侵略の疑があるから、早く兵を引いてくれと日本の大使館の前に示威運動をした。ノースクリフ卿の如きは頻りに日本を猜疑してゐる。併し乍ら今日となつて故なく引上げたら、當時の出兵が間違

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

てあつたことを自ら裏書することになるから、何か良き口實を得たいと思つてゐたのが、前内閣の實情であつた。其爲めに多數の人命を損じたのみならず、國帑を費すこと既に六億餘圓である。兵を屯する爲めに年々七千萬圓を使つてゐる。そして内には國民は不景氣に苦しみ、尚此上に增税の虞れがあると心配してゐる。退く能ず遂ぐる能はざるは此の西比利亞出兵で、内閣が變つて漸く撤兵の議丈けは決したのである。近來の日本を通じて第一の失敗であつた。而して是は斯うやつた利を得る階梯となる、利權を得て西比利亞の野に根據を打樹てやうと考へたが、我々の眼からは、彼等の不學無識極まれりと論撃しなければならぬ。兵士も是に惱み、前後二千餘人の忠良なる軍人は此の無名の出兵の爲めにその骨を異郷の荒野に曝した。

露西亞は二億に近き人民が飢寒に惱み困窮してゐる。仲の惡い佛蘭西も、交際しない亞米利加も、之に金を與へて救助してゐる。然るに日本は一錢の金も出さず、徒らに出兵の費として軍費を出してゐるのは憫笑すべき至りではないか。之を若し出兵などせず、一億の金を救助に投じたら、平和成つた後、日本人は人情厚き國民なりとし、感謝して色々な利權を喜んで向ふから與へて與れるであらう。則ち利を謀るものは利を得ず、義を計る者却つて利を得ることになるのである

□戰爭の繼續を希ふ國民

此外も一つ利を圖つて其利を失つたのは、大正三年の八月迄歐羅巴の大戰爭は始まつたのであるが、大正三年の十二月迄日本は不景氣であつた、四年頃から段々物價は上つた。戰爭中戰爭國に於ては物の製造が出來ぬから、物資は缺乏する。軍需品は要る。造ることなくして使い方が荒いから、物價の上るのは當然である。日本は青島出兵の外殆んど中立の如き有樣であつたから、日本の貿易は大變に儲かつた。造れば上る。又造る又上る。そこて造ること速にして又賣れたから、粗製濫造をやつた。それてよく賣れたから僥倖の富を得たこと前後三十億に及んだ。會社では莫大の利益を株主に與へた。別莊が立つ倉が出來る、妾が圍はれる。世界が惱んでゐる間に日本は大に富を殖した。米國も富を造つたが遂には二百萬の大兵を出したから、始めは儲かつたが後には金を捨てた。米國は遠い國であり乍ら何故此戰爭に參加したかといふと、別に害は受けない、要心をして防禦すれば戰の仲間入をしないでも濟んだのであるが、米國は斯の如き人類を絕滅し文明を破壞する戰爭は、人類の汚辱である。獨逸の軍國主義を懲すが爲めに米國は義軍を起さねばならぬ。それ故償金も土地もいらぬ、と云つて戰時公債を自由公債と稱した。自由の爲めに用ゆる金だといふのであつて、實に堂々たる宣言であつた。然るに日本は、佛蘭西から日本は武勇の國だから歐羅巴に兵を出してくれといふて來たが、それは到底出來ない相談であるから日本も應じなかつた。米國は斯く始め儲けたが後に金を使用した。然るに日本は終り迄儲けた。そして此時日本人は何と思ふたかと云へば、此戰の永く續く方が日本の利益であると考へたことは、同胞に對して實に危險思想であつたと云はねばならぬ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

實業界の人には「此軍は續きませうか」、「左樣續きませう」「それならまだ結構儲かりませう」と云つた。戰は止んだ、まだ物價は下らぬ。そして喜んだ。併し物價の下らぬのを喜ぶのは尚恕すべし。戰の續くのを喜ぶのは恐るべき思想である。私が此事を慨歎して澁澤子爵に戰の永續を願ふのは文明の破壞で、やがて世界に孤立する運命を取りはしまいかと語つたら、是を心中に思ふのは外から止ることは出來ぬが、是を口にし筆にするは己れさへよければ他は構はぬといふてとを公言することに當り、甚だ辱かしいことである。是に對して何かしやうといふので、其當時僅かであつたが、澁澤子等の盡力で聯合軍や難澁して居る人々へ見舞金を贈る擧が企てられたのである。

戰爭の爲に物品が缺乏して物價が昂つて賣人の得が行くやうであるが、生活の度は上り、風俗は驕奢になり、濫造が行はれ、やがて反動が來つて失業が出來、船價が下り、その混亂は遂に人命の危害にまで及ぶであらうと私は本誌にも屢々述べた、早く物價を調節して國民の思想を健全ならしめなければならぬと私は度々論じた。果して今日は人命に危害が加はつた。强盜、脅掠、離婚、失業、自殺、頻々相次いで起つてゐるではないか。是れ實に前に放漫の政策を取つた政治家の責任は免れぬが、國民も亦黄金が這入りさへすれば國民の利益と考へた罪である。又利益を圖つて不利益を得た好個の例ではないか、非常に迂遠の樣であるが、董仲舒が其義を正しうして其利を謀らずと云つたのは、決して迂遠ではない。善を爲して榮えるといふのは理論上の原則のみでなく、實に人生實際の法則である。丁度物理學に違ふたら製造の上に物が出來ないと同樣、義を紊つたもので利の出來る筈がない。其他の事實も皆左樣になつてゐるのである。米國に適例があるから引かう。

□米國製鋼會社と對比せよ

今回の戰で儲かつたのは鐵材鐵器製造を以て最とする。軍艦一隻を造ると七八千萬圓かゝる。其主なる材料は鐵である亞米利加にユーナイテッド・スチール・カンパニーといふ製鋼會社がある。此會社はゲーリーといふ元裁判官であつた人を社長としてゐる。此會社は戰爭當時は儲かつたこと殆んど無限であつた。歐羅巴に要る鋼鐵は殆んど米國の一手であつたから、何れ程儲かつたか分らぬ。然るに其利益の分配をしたのは何程であつたかといふと。凡そ製造業者は公債證書よりは利益が多いのである。公債は最も安全であるが、他の事業は才能を要する上に儲かることもあれば損する事もあるから少しは多く儲くるものとせねばならぬ。そこで公債の方は普通五六朱であるから之より多く利益を配當するは當然であるが我會社は八朱より以上に配當せぬといふことにした。株主がもつと配當してくれといふと、それはいかぬ、是はほんとうの儲ではない。永遠に續かない性質のものであるから、是は積立金にする、若しそれで不平があれば株をお賣りなさい會社はそれを買取りませうと答へる。斯樣にして非常な積立金が出來た。其内政府は二百萬の兵を動かすに至つたから、非常に多額の公債を募つた。三千哩の海を超えるのであるか

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ら運送船の製造だけても大金がかゝる。その時、此會社は政府に當時の高い相場より餘程安く鋼鐵を賣つた。元々製造上にそんなにかゝらないのだから、國が借金して戰をしやうといふ時に、之に對して國民が儲けてはならぬといふので安く賣つた。之が爲めに米國の軍費は割合にかゝらなかつた程である。やがて戰は止み鋼鐵の値は下つた。併し乍ら此會社は幾億の金を使つて、勞働者が動搖し失業者が不平を云はぬ樣にし、ストライキ一つ起さしめなかつたのは偉いものである。

我日本はどうであつたか、色々な會社も作り、別莊だ藝妓だ妾宅だと、道德の根柢を破ることに使つた。そして斯かる人は政府が買上げやうと云へば、出來るだけ高い金を以て賣つたであらう。而して戰後狼狽して或は破産し、或はストライキに驚き、或は非常な窮境に陷つた。米國のゲーリー社長は之を以て世を救ひ國を救ひ、依然として榮え行く。一は利に走り一は義を重んじたからである。「天道還るを好む」といふた古人の言葉は決して誤りではない。

□義を踏んだ參戰の結果如何

更に偶然にも日本の世となつたのは、日英同盟の約を確と踏んだ點に、大に意味のあつたことを諸君は發見せられるであらう。非常な勢で獨逸が白耳義に攻めかゝり、佛蘭西が狼狽した時、日本の軍人は殆んど皆獨逸が勝つと思つた。其内マルタの盛返しとなり、獨逸も軍を退けて持久戰となつた。併し乍ら日本の軍人はやはり始終獨逸が勝ものと思つた。けれ共我々は聯合軍側が勝つと思ひ、且つ勝たしめたいと思つた、若し獨逸が勝つたら今度の樣な軍備制限の會議などは起らず、造艦の競爭で天下其弊を受けること幾何であつたか分らぬ。我々は當時何方が利益かといふことを考へるよりも、どちらが義であらうかと考へたのである。幸にして當時の內閣は英國を勝たしめなければならぬと考へ、日本は日英同盟の義を重んじ大正三年八月四日の夜の決議で、獨逸に向つて青島を引渡せと申込み、期日迄に何の回答もなかつたから、八月廿四日に宣戰の布告をした。此時に方つて政黨中殊に政友會の間に「實に憂慮に堪へぬ獨逸が勝つたらどうする」今の時に當つて中立の態度を取り形勢を見て勝つた方に味方をしたらと云へぬばかりであつた。斯ういふ同盟國を持つたら英國も閉口である。危い哉。是は甲と乙との銀行が、あなたの方に取付があつたら私の方から助けやう。其代り私の方に取付があつたら、貴下の方から助けて貰ひたいといふ定約をしておいて、いざ愈々一方の銀行が取付に會つたら、——破産する樣なら助けまい——何の位の程度か形勢を觀望しやうといふのでは、何れの銀行も此の狡猾の銀行と取引する銀行はなくなるであらう。是と同樣、日本がこんな態度を取つたら其將來はどうなつたか分らぬ。日本は世界に信用を失ふの一大缺點を暴露したであらうが、幸に信用を繫ぎ止めた。私は日本が外交に巧みでないことを知つてゐる。それにも拘らず五大國の一となつたのは、當時は僅の働きであるが、獨逸は北海より英國を襲ふ虞れがあつた。英國の貿易は爲めに絕えんとした。此時代に東洋に日本が軍艦を働かしたのである。開戰の翌年日本が獨逸と單獨講和をしない樣にといふの

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

くて、倫敦條約が結ばれた。日本と英佛伊露の四國は和睦を別々に勝手に締ぶまいといふ他の四國と對等の條約を結んだから、日本は五大國の一となつたのであつて、日英同盟の約を踏んだことより起つたのである。約束信用の爲めに働かねば五大國にはなれなかつた。此時に利害の上に進退を誤らぬやうと形勢を觀てゐたら、日本は將來國として如何なることになつたか分らぬ。義を謀つて利を計らぬ結果、却つて利を收めたのは同盟による戰爭の參加であつた。

□人情斯の如し

最近某雜誌に斯ういふ記事があつた。匈牙利の都ブダペストを、或日本人が歩いてゐたら、後から貴下はいつ此國にお出になつたと呼びかけた者がある。日本人かと思つたら見たこともない二人の白人である。其人の語る處によれば、自分は捕虜になつて日本で非常に厄介になつたから禮をいふ。文部卿に申立てゝ同志の者と共に貴下をお招きして謝意を表したいから來て吳れといふ。もう一人は西比利亞から救はれたチエツクの民であつた。捕虜の待遇は公然に定まつてゐることだが、各國は激しく戰ひつゝある時だから英佛白皆粗末に扱つた、殊に獨逸の如きは、國民さへ食糧がなく互に喧嘩してゐる位の有樣であつたから敵の捕虜を最も惡く扱つたであらう。日本は特に厚く捕虜を待遇したのではないが、それですら人情斯の如く知らぬ一邦人に市に會つて謝意を表しやうといふのである。一人の感情は百人に擴がり、百人の思想は萬人に及ぶ。

故に謀を廻らして利を得やうとする者は却つて損をし、道を盡したものは却つて利を得る。朋友の間も國際の間も亦斯の如きもので人性を圓滿合理に遂げるのが永久に續く利益を占むること明白である。現在の政界實業界を見て、古人の言葉を思ひ出で、無限の感懷がわくてはないか。

會員諸賢に謹告

謹啓、廓淸會が男女貞潔の理想を掲げて、醜惡なる公娼制度の廢絕を提唱して以來、既に滿十年を經、諸賢の熱誠なる御盡瘁によりて、微力非才を顧みず會長の職を瀆し社會と人道との爲めに貢獻し來りたるは感謝の至りに不堪候。

然るに最近社會の趨勢は、漸次に本會の主張に近づき來り、或は幼年禁酒法の實施となり、或は治安警察法第五條の撤廢となり、更に或は前號の本誌に報ぜられたるが如く、藝妓の自由廢棄に關する新判決例あり、此の傾向は將に我等多年の宿志たる公娼廢止を見るの遠からざるを暗示するものと信ぜざる能はざる狀勢に御座候。

就ては此の傾向を助長しその思潮を指導せんが爲めに、此際本會も亦一大展開を試むるの必要を痛感仕候。乍併それには隨つて資金を要する儀に有之候間。會員諸賢の御諒察を乞ひ、左記の通り御寄附金を仰ぎ、大に活躍の計劃を立て候樣、去日の總會に於て決議仕候につき、何卒御快諾被下、愈〻主張の宣傳主義の貫徹の爲めに團結を固うして邁進候樣致度、此段奉懇請候也。

大正十一年七月

廓淸會長　島田三郎

記

一、正會員諸君は各金壹圓を御寄附願上度事
一、維持會員諸君は各金參圓を御寄附願上度事

右につき御寄附金受領の爲め來る九月下旬頃集金郵便を以て頂戴仕候樣いたし度候。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

男女共學と男女交際

廓清會副會長　安部磯雄

□男女交際と醜業婦跋扈との關係

久しい前から私共は、男女交際の極めて必要な事を屢々論じて來た。何故かなれば私共が稱する不正なる男女關係を矯正するには、何うしても一方に正しい男女交際が行はれなければ、其の目的を遂行する事が能ないからである。公私娼の廢止、之を廣く言へば所謂醜業婦をして殲滅せしむるには、是非とも一方に情い男女交際を起さなければならないと信ずるからであるが、我國現今の狀態では男女交際を自由にするには相當の準備を要する事と思ふ。準備とは何かと云へば私共が今迄稱へ來つた男女共學其ものである。然るに從來此極めて重要な問題も兎角社會の注意を惹かなかつたが、幸にも本年開かれた全國各高等女學校長會議に於て、男女共學といふ事が決議されるに至つたのは、私の最も愉快に感ずる處である。のみならず教育方法までが、私共の稱へる事と一致してゐるのは誠に意を强ふするものであつて、それは何かと謂へば、教育程度の最下級のものと、其の最上級のものと同時に行ふといふ事である。卽ち小學と大學とを同時に行ふ方が都合が良いのであつて、私共は兩手を擧げて贊成するものである。これは中學校と高等學校は其の程度が六ケ敷いから之れを後廻しにして小學と大學とを、五六年と五年乃至十年とをやつて、直ぐ後で中學、高等學校程度に教へ廣めて行くといふ事は慥に好結果を得るに相違ない。然らば何故に男女共學が男女交際の前提と主張するかといふに、其の理由を少くし述べて見たいと思ふ。

□我國教育制度の欠陷

第一の利益は男女共學の爲めに、性に對する自覺を少くする事である。性に對する自覺を少くするとは、反對の性に對し特殊の感情を陶冶するといふ事であつて、不正の男女交際を矯めやうとするには是非とも男女共學に據らなければならないのである。男女共學であれば、丁度一家庭の兄弟姉妹が平常一緒に育てられてゐるから其間に性の自覺といふものが出ない。從つて正に性の區別を整然と頭に置かないから、其處に幾多の弊害を排除する事が出來るのである。然るに從來の多くの家庭では男子と女子との間を整然と區別し、男子は女子の眞似をするな、女子は男子の爲す事をしてはならぬと常に敎へてゐる。之は太甚だ宜敷ない。元來子供は十三四歲

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

位までは所謂中性であつて、其處に男女の區別がないものであるから、其儘に育てて行けば性の自覺が强くない筈であるそれを家庭内に於て男女を區別して故意に自覺をして强からしむるのである。殊に小學校教育などは此の點に於て不都合だと思ふのは、性の自覺のない子女に迄、勤めて與へようとする教育方法を採用してゐる事である。之れは是非とも改めなくてはならない。

相當の年齡に達する迄は性の自覺を與へないようにする事が必要である

□男女間の羞恥心より起る禍福

我國に於ける男女交際上に種々なる弊害を取り除く事が出來るのは勿論である。併し私共は男女に性の自覺を全く知らしてはならないといふのではない。如何に努力した處で男女共に十五六歲位に達すれば、自然の徑程として或る程度の性の自覺の生ずるのは止むを得ない事であつて、これは當然であるが。現在我國男女間の交際狀態のやうに、男子が女子の前に出れば直に羞かむし、女子も復た男子の前では羞かむといふやうな、此の意味の性の自覺は甚だ面白くないと思ふ。これは我國に於ける子女教育の方法其宜敷を得ないからであつて、實にこの關係が怖るべき幾多の弊風と過害を齎すのである、何故かなれば一度び其の羞かまず互の心が親しく融合した時、其處に過ちが生じ易いからである。男女共學になれば、斯る弊害を矯める事が出來るのは謂ふ迄もない事であつて、左に其の一例を擧げて見たい。

之には嘗つて私が米國に行つた時に觀たことであるが、西海岸即ち太平洋沿岸の各地では男女共學が盛んである。觀るからに極めて氣持ちの良い自由な方法を採つてゐるが、彼のロス、アンゼルスに程近いポモナ大學などでは、實に自由な男女共學をやつて居る。其の大學は餘り大きなものではないが、生徒の數は二三百人位居つたやうである、て、午前中であつたが其の敎場へ行つて觀ると、私共の眼に異樣に感じた事は、男女が入亂れて席に着いてゐる事である、我國などでは今日各大學で門戶を開いて女子の入學を許可してゐるが、永い間の性の自覺教育は男子は男子、女子は女子と互に相寄り相集つて席に着のが常であるけれども、彼等はそれと反對に全く性といふ自覺を超越して居らるが如き觀を爲して居る男子の中に女子、女子の中に男子と混然として著席し、一生懸命に講義を聞いて居る情態は、全然性の自覺がないやうに見らるゝ程、これ程無感覺のやうに感じた。丁度一家庭に於けるこれと同樣に其間何等の不自然な態度を見ないのは、これ彼等の青年男女の間に性に對する自覺が相違するからであつて、如何に我國の男女間に反對の性に對する自覺の强いかによつても之れが主張される。

□男女共學と性の自覺

それから夕食の時に其の食堂を觀せて貰つたが、第一この建物からして私共を驚かせずには置かない。成程建物とては

可成大きなものであるが、唯だ一棟のみであつて、其の中程に區劃がある許りである。そして其の一方の二三階は男子、他の一方は女子と其の間僅に壁一重あるのみであつで、我國の人が考へるならば、頗る無暴極まる事といふてあらう。だから食堂なども無論男女一緒に食事をする。丸卓子の周圍を男子と女子、女子と男子といふやうに並んで圍み、樂しく食事をしてゐる。其處の舍長の話では、其の席順は私が極める事になつてゐて。互に交際を廣くするやうに三ケ月目毎に替へるのださうであるが、其の有樣を觀て私は非常に愉快に感じた。其處に少しも性の自覺のあるやうに見受けられない私共は此點に就ても男女共學の如何に利益するかを考へなくてはならない。何故かなれば男女共學は、斯くして性の自覺を少くするからである。

□危險なる我國の結婚制度

第二は、男女互に反對の性に對する觀方の標準を得る點にある。男子が女子を觀る時、女子が男子を觀る時、相當の準備があるから、互に反對の性の前に出て差かむやうな事がなくなる。冷靜な態度で相手方の諸々の點を觀察する餘裕があるといふ事は互に大なる利益である、我國の如く男女交際が自由に出來ない間は、男女が互に何に依つて配偶者を撰擇するかと謂へば、いふ迄もなく其の人の容貌如何を標準にするのである。これは誠に止むを得ない。何も知らない同志が結婚するのであるから、せめては容貌位を撰擇しようとする心根は決して無理ならぬ事である。だから我國では愈々問題が纏ると一先づ見合をする。そして其の容貌の如何に依つて結婚が成立するのであつて、本人の性格などは知らうと力めてもそれは無論判らう筈がなく、學校の成績や友人知己などに依頼して調べて貰つて、確然としない報告に依つてその幾分かを窺ひ知る位のものであるから、後日種々なる患へが生ずるのも復た當然でなければならぬ。稀れにかるた會や音樂會などの際に兩方が自然引付けられる事は、此の意味に於て多少その弊害を豫防する事が出來るが、これとても第一の條件は矢張り容貌の如何であつて、要するに我國に於ける配偶者撰擇の第一條件は容貌の美醜であると云つても決して過言ではない。

□男女共學が生む幾多の利益

然るに四五年間男女一緒に勉強するとすれば、反對の性に對する觀方が變つて來る。標準が全く違つて來る。容貌が如何に美い婦人でも、若し其の人に優れた才能もなく、教師の質問に對してすら滿足なる答ひも爲し得ない、成績不良のものであつたなら、男子の考へが違つて來る。復た女子にした處で然うである。如何に男らしい人だと思つても、教場内で四五年の間、あの男の頭は頗る貧弱だといふやうな評判を聞いたり、其の態度や動作に下品な點があつたりするのを見れば、勢ひ今迄の其人に對する尊敬心がなくなつて來る。斯くして數年間、同一教場内に於て交際する間には、互に幾多の缺點と長所とを聞知するから茲に初めて容貌の美醜を以つてした批評眼が一變して了つて徒らに容貌の美醜には迷はされ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

なくなつて來るのである。だららボモナ大學などでも其の卒業生の間に結婚されるものが割合に少く、他の學校でも男女共學の處は一般に其の割合が少ないさうである。畢竟容貌などては相對の性を引付けないからてあつて、容貌が如何に美くとも内に缺點があれば、其缺點を自づと知れ渡つて居るからさう蟻の砂糖に寄るが如き愚に落ちない爲めてある。併し男女共學の利益は、たゞそれ丈ならば折角の反對の性に對する訓練も餘り效果がないてはないかと疑ふ人があるか知れない。けれども實際に於ては、四五年間同一の教場内で知つた反對の性に對する其の者の性格を知る許りでなく、社會に出ても男女に反對の性の觀方に高い標準が出來て居るから、その撰擇に考へ深くなつて、容貌などては、容易に引付けられない。私共が主張する男女共學の利益は玆にもあると思ふ、

□理想的男女交際は男女共學より

右の二つは主なる利益てあるが、更に第三として數ふべきものは、男女共學の爲めに勉强心が高まつて來るといふ事てある。これは第二の點から自然に生ずる結果てあるが。男女打交ると勢ひ競爭が一入强くなる。女子は女子て、自分達の成績が惡いと男子の前に外聞が惡い、男子も復た然うてある。之れは恥から來る事てあるが、もう一つは男性の上に就ててある。若し野卑な振舞でもするものがあれば、反對の性から蔑視せらるゝから、男子の間に於ても互に擧動を謹み、亂暴な事などをしなくなる。之れは奥底から來る性の自覺に基くものてあるが、延いては修養の點から考へても必ず好影響があるから、何うしても男女の交際を將來益々自由にし盛んにしなければならない。それには學校より之を初め社會に及ぼすといふ事が各人の幸福許りでなく、國家の上から觀るも極めて有效だと思ふ。私は斯く男女共學の利益を深く信じて疑はぬのである。

佐渡二見遊廓移轉之儀に付陳情書

佐渡郡二見村は幕政の頃より相川町小木港夷港と共に、和船交通時代は船舶輻輳の地として多數他國人の出入宿泊も有之候故、不得已特に遊廓設置御許可相成居候て、一郡中に四ヶ所の遊廓設置は識者の常に遺憾とする所にして、其爲め地方人民の風俗に惡影響を及ぼしたるは枚擧に遑なきことに御座候。然るに時勢の變遷と交通の變化により、汽船の發達に伴ひ、自然小木二見の遊廓は衰微に傾き町民も追々正業に向ひ候間、本郡の有識者は風俗上其自然の廢業を喜居候次第に御座候。然る處今回澤根町並に川原田町の町民中にて二見村營業者と共謀し、兩町附近に遊廓移轉を計畫仕居候由に御座候。町村の繁榮策としては種々方法も可有之候へども、遊廓移轉を以て町村の繁榮を計畫する如きは私共の甚だ遺憾とする所に御座候。定て御許可は無之事とは存候へども、萬々一御許可相成候節は遺憾千萬と被存候。殊に澤根町並に川原田町は本郡重要の交通縣道にして、其附近に遊廓等設置御許可相成候ては一大痛恨と被存候、別して二宮村及び川原田町は縣立佐渡中學校の所在地にして、之と相對して遊廓設置相成候ては、學鄕の神聖を汚し風俗を紊亂すること無此上儀と被存候。萬一川原田附近四通八達の中央市場に右樣の設置御許可相成候節は、地元は勿論周圍の各町村も風俗上衞生上等より悲慘なる惡影響を蒙り、其流毒の罪惡は子々孫々に迄も遺傳可仕と密かに憂慮罷在候、右の次第に付默示する事能はず、僣越ながら私共の卑見を陳述して謹んで閣下の御參考に供し何卒御許可無之樣偏に奉懇願候也。

大正十一年七月

新潟縣佐渡郡河原田町　小山治吉

（外二十七名）

我國に於ける婦人運動の倫理的考察（二）

文學博士　藤井健治郎

五

私はかやうに考へてゐるから、明治十年代以來說かれてゐる、女子輕視の原因は封建の餘習と儒教の影響と、此二つであるといふ多くの先輩の說は、まだ不徹底なものであると信じてゐる。

かくいはゞ人は必ず反問するであらう。曰く然らば家制と女の位置との間に、何等か必然の關係があるか。詳しくは、家制のある處には、女子の位置は當然低下すべき道理でもあるかと。かやうに反問するであらう。私はそれに對して然りと答へる。しかし私がそれを說明する前に先づ承認を願つておかねばならぬことがある。それは何であるかなれば、こゝでいふ處の家制は男系の家制の家系である。パトリアーカルファミーリであるといふ事である。さて此家制に於ける最大德義は何であるかなれば、其家を存續するといふことである。祖先に承けた家を永く子孫に傳へるといふことである。從つて其反對で其家を絕やすといふほど、不德義なことはない。家を存續させるのはそれは、人間の孝行であつて、而もあらゆる孝行の中で最も大なる孝行であり、それを廢絕させるのは、その反對で最も大なる不幸である。然るに其家を相續するのは男系を原則とするから、男の子が生れたといふことは一家に取つて一の重大事であらねばならぬ筈である。之に反してたとひ女の子が生れても、嚴格な男系の家制に於いては家の相續をさせることが出來ない譯であるから、大に弱らざるを得ない筈である。現在の我邦の家制は養子相續を許してゐるから、女子でもそれは養子をすることによつて家を相續させることが出來るが、しかしそれは決して男系的家制の嚴格な形式でない。我邦にも德川期にはさうした家制が行はれてゐたのであるし、現在にも行はれてゐる。此點に於いて先づ女子は男子に對して一等下つた位置に居らざるを得ない。

次に戶主は現在の家族を統率すると同時に必ず其家を子孫に傳へていかねばならぬといふ大責務を負うてゐるから、それの妻にも亦重大責務が加はつて來る。それは子を生むといふ責務である。而も男の子を生むといふことである。若し子を生むことが能きぬやうであれば、それは妻としての最大責務を果すことが出來ぬといふことになつて、爲に人妻としての極刑に處せられる、――離緣といふ。禮記の中に見えてゐる所の、七去中の第二位にある無子去といふはそれである。隨分酷いやうではあるが、しかし家といふものを存續させるのが現在の家族の最大責務であるといふ點から觀れば、それ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

6 — 664

も實に致し方のない譯である。

かく妻には子を生むといふ大役が負はされてゐるが、而して幾ら大役を負はされても、所謂一家の主婦たる權威が認められての上ならば、それは女としての家族間の分業として、家制の下當然のことゝ、吾も思ひ、人も考へるであらうが、家制の下に於ては中々さうはいかぬ、それは「嫁を貰ふ」第一の目的は子を生ましめるにある。而も男の子を生ましめるにある。其他の事それが嫁を貰ふといふ意味の中の重大事であつて、其他の事の如きは皆それから割出されてゐるものといつてよい。故に子を生ましめる爲に貰つた嫁は、極露骨にいへば自然に子を生む道具と觀られるやうなのは、思へば莫迦〳〵しい話であるが、自然の勢ひ、洵に已むを得ない。「腹は借物」などゝいふ言葉の出たのも、所詮はかうした經緯があるが爲である。つまり主婦たるの權威などゝいふものがあるのでなく、子を生む道具以上に觀られてゐないのである。

嫁は「家が貰ふ」のであつて、特定の男子某が、特定の女子某と結婚するのでない。更に詳しくは、嫁は、姑が自分に代つて次代の「家を齊つてもらふ」爲に之を「貰ふ」のであつて息子を唯その「受け」に出すに過ぎない。:嫁の意味は始めからかうしたものであるから、姑の方からいへば嫁をいじり廻して我意に從はしめるのは、實は我意に從はしめるのではない。家風を次代齊家の責任者に傳授するのであつて、これは自分達の本務であると信じてゐるのである。故に嫁は自分の理想とか意見とかは全くこれを嚙み潰してしまつて、一意專心に姑の意を迎へ、之に從はねばならぬ。つまり嫁といふものは東向け、西向けの姑の命令に唯々、諾々の人形であらねばならぬ。少しでも私見を述たべり、我流を張つたりすれば、忽ち「內の嫁は中々物識りで我々古い者などのいふことを聽くものでないと」來る。それが少し度重なると、家風に合はぬ」といふ理由で「里へ返されてしまふ」始めから「結婚」がないのであるから此場合に於いても「離婚」でなく、「里に返され」のである。支那古禮の七去の第一位に婦に順ならざるは去るといふ個條が揭げられてあるが、「家といふ立場から觀れば、寔に以て當然の道理であつて、前に述べた第二位の子無きは去るといふ個條など、併せ考へると此七去の順位も決して無意義に列擧したものではないとが讀める。

六

次に男系の家制に於いては、戸主たる男子は一家內に於ける。專制獨裁の君主である。家族全體の生殺與奪の權が彼一人の掌中に握られてゐるといふと、少し事誇大に過ぎるが——いや族父制の或時代に於いては、文字通りにかうした權能が認められてゐた時代もあつたが——實際嫁の如きは何の意見を出せるものでない。渠女は姑に對して頭を擧げることが出來ないと同樣に、夫に對しても絕對盲從であらねばならぬ。彼女は自己の貞操に就いては十二分に嚴重に責められてゐるが、夫の品行については一言半句も文句をいふことが出來ぬ。若し自分に子のない場合の如きは言ふまでもなく、たとひ子があつても夫の素行に對して彼此いはうものなら、これは女の嫉妬として、渠女の重罪に數へられなければならぬ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

淫なるは去る。妬なるは去るは七去の第三位、第四位に數へられてゐるが、而して是等は必ずしも家制を俟つて後にするものではないけれども、しかし家制があつて更に重大の意味を有つて來るものなることは疑ない。

次に家制に於ける親權と戶主權との關係は如何であるかと觀ると、家制に於いては家其者が絕對者であるが故に、それを代表する所の戶主權は一家內に於ける最高至上の不可侵の主權であつて、これに對立すべき何等の權もあるべきでない故に家制に於ては親權といへども終に戶主權には適はないのが道理である。それ故に女たるものはよしそれが母であつても、戶主となつてゐる自分の子供に頭を下げねばならぬ。玄關の式臺に頭を下げて息子の凱旋を迎へた母と、奧の書院で家族一同の祝辭をうけ、さて其後でおッ母さま只今無事で歸つて參りましたと、母を上座に直して自分を下座に挨拶を述べた息子とは、由來禮儀の正しい賢母賢息の龜鑑とされてゐる家制に於いては然もあるべき事である。七去と同樣に、古くから支那に傳へられた女子への敎訓中に、三從といふ敎訓があるが、其第三位にある所の「夫死從子」といふは母權も戶主權に如かざることを言つたものであらう。是も家制といふ族制上當然のことであらう。其三從、といふのは在家從父適人從夫。夫死從子といふのであるが、かやうに家制中にある所の女子はいつも從、從、從で服從ばかり強ひられてゐて一生を通じて頭の上がる時日はない、ウエスターマルクによれば、印度にも、巴倫にも、羅馬にも、それ等が族父制の社會組織を有つつゐた時代には、此支那の三從に、文句までが甚だ近似してゐた敎訓があつた、亦以て家制のある所親權と戶主權とが如何なる關係にあるものなるかを示すものである

右に申したやうな譯であるから、私は家制の下に於いて女子の位置の下つてゐるのはそは單に偶然な事柄でなく、必然らざるを得ざる道理であることを主張するのである。

此家制が嚴重に支持されてゐる支那、其支那の土壤に根ざした儒敎であるから、自然に女子を輕視するやうになつたのも、道理至極のことであるといはざるを得ない。

從來我邦に於て、家庭に於ける女子の位置が向上することの出來なかつた原因は、かやうに女子の敎育が男子のそれに比して甚だ低かつた爲と、家制が支持されてゐたが爲である

七

右のやうな譯であつたが、それが段々と女子の位置も高まるやうになつた。それは我邦の女子敎育は、男子のそれに比ぶれば猶、甚しく劣つてゐるものではあるが、それでも以前から觀れば、段々進步もし、普及もして來て、だんだん新しい思想も湧いて來るやうになつた。加之彼の家制といふものが、政治上、法律上、經濟上、思想上各方面から起る所の種々の原因から動搖し、幾分かづゝ崩壞するやうになつた。それでも流石に女であるので、肚裏には色々考へてゐることもありながら、又その思想を實行するのに適當な機會もありながら、ある水先案內者が現れて世間の視聽を憚らず自分の信ずる所を斷行するにいたるまでは、狐疑逡巡して斷然と新しい道へも出れず、さりとて舊い型を守つてゐることも出來

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ず、有耶無耶の煩悶中に日を送つてゐたが、四十年代以後に於いて、一方においては、卅七、八年戰役後の空景氣に煽られた浮華淫靡の風の流行につれ、同時に思想界に於いては自然主義の影響などの爲に、從來の型に囚はれない戀愛の型が世間にボツ／＼現れて來て、水先案內者が現れたとなると、漲り切つた水が堤を決して流れ出したやうに、世間は滔々たる新思想及新思想家によつて浸され。とんと從來の形に囚はれない所の幾組かの新しい男女が輩出するやうになつた。

かくて段々女の自覺が高まつて來て、何々「家」へ嫁に貰はれていく／＼のが嫌になつて何々の「男」と「結婚」するやうになり、「家風の傳授を受けんが爲に姑と同居するよりも、「理想」を實現せんが爲に夫と共に別居するのを結婚の本體であると考へるやうになり、少しく敎育をうけた女の考へてゐる結婚といふものは、以前の人々の思つて居たものとは全く異なるやうになり、又世間でもさうした思想を段々是認するやうになつた。つまり家制といふものは種々の方面から搖り動されて來たのであるが、此女の自覺の爲にもひどく動されるやうになつたのである。而して女の方ではそれを動かしその嚴重な型を崩すことによつて、渠等を拘禁してゐた檻室を破り、以て彼等自身を多少自由の天地に翺翔せしめたのである。つまり家制の崩れかゝつたといふ事と、女子の家庭に於ける位置の向上とは必然に聯關してゐるとが分明である。

かやうに女子の家庭に於ける位置は、以前から觀れば多少向上したのは事實であるがしかし長歲月の間に馴致された狀態は一朝にして一洗されてしまふといふ譯にはいかず、家制が生み出す女子の卑下乃至壓迫が、至る所に多分に殘つてゐる。然るに他の一方を顧みると、それ等とは全く別世界に住んでゐて、而してそれらと行方を異にしてゐる人々の存在してゐることを觀ぜられる。渠等の翻してゐる旗幟を看ると、それには戀愛至上と書かれてある。渠等は戀愛の情火の燃ゆる所、そこに結婚が鍛成されるものであつて、其靈火のない結婚は單に冷い肉塊〳〵抱擁に過ぎない虛僞の結婚であると信じ、自ら「自由戀愛」の烙印を心臟部に捺してゐる。

世間にはかうした連中もあるとは、事實であるけれども、而して渠等は結婚に就いての渠等の思想を以て最も進步した思想だと自負してゐるけれども、私から觀ると過ぎたるは猶及ばざるが如きものであつて、すべて誰でも「家」の型の中へ嵌め込んでしまはうとする思想が亦及ばざるものであるならば、此は又あまりに過ぎた思想であると謂はねばならぬ。試みに渠等に問はう。此に一人の女があつて、今日一人の男と交はり、明日は更に別個の男に接したとする、いさや朝に吳客を送つて夕に越郎を迎へるといふ、所謂遊女の態をするものがありとする。而して渠女は是れ妾が戀愛の命ずる所であると辯じたとする、此場合論者は自己の立場からして、自然彼女の行動を是認せざるを得まい。然らば更に問はん、爾の世界に貞操ありやと。そは若し結婚は戀愛本位であるならば、而して其戀愛の對象は必ずしも一定なものでなく、折々に變化するものならば、其の後々の變化に從つて相手を代へたにしても、そはすべて戀愛の指示する正當の結婚であつて、何等姦淫とすべき道理がないのではないか故に私は爾の世界

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に貞操があるかと問ふのである。

八

かくいはば戀愛至上論者は或は謂ふであらう。曰く我等の謂ふ所の戀愛なるものは、汝が今說く所のものとは其選を異にしてゐるものである。汝が說く所の戀愛なるは其尾にまだ性慾の貝殼をくつつけてゐる處の戀愛であつて、換言すれば動物的の戀愛であつて、人間的の戀愛でない。我等が唱へる所の戀愛は人間的戀愛である。元は性慾から生れたもので、今でも猶何處かで緣の糸をその性慾へ引張つて居るかも知れないが一寸見ては殆どそれと絕緣されて見える所の精神的なものである。さう〳〵時々刻々に對象を代へるやうなフィックルなものでない。汝が言ふ所の戀愛は盲目的で我等の說く所のそれは明目的なものである。されば戀愛至上といつた處で決して汝の說くやうな亂婚の狀態に陷ゐるものでないと、かやうに謂ふかも知れぬ。然らば更に問はん、同じ戀愛が盲目的になつたり、明目的になつたりするのは何の爲かと戀愛至上論からすれば、戀愛あつて、結婚ならば、その戀愛はよし盲目的のものだらうが明目的のものだらうが、すべて本當の結婚であつて、前者であるからよろしい、後者であるから宜しいといふ道理は萬々あり得ない筈である。それ故に戀愛に盲目的に明目的とを區別した處が何等渠等の說を是認する所の幇助とはならぬ。併し若し渠等が戀愛に盲目的、明目的を區別するの意が、前者を不可として後者を可とするにあるならば、私は更に又一問を發せざるを得ぬ。曰く其可、不可を決定する處の標準は何であるかと、換言すれば前者を不可とするは、前者の價値を卑下することであり、後者を可とするは後者の價値を稱揚することであらねばならぬ筈であるが、其評價をなす所の尺度は何であるかと、渠等は此問に對してそれを承認し、而して何とかそれに答へたとすると、もう結婚について、戀愛至上といふ渠等の立場を破壞してしまふことになる。何となれば渠等本來の立場は、結婚を規定する處の最上のものは戀愛であるといふのであるのに今や一轉して其最高以上に其戀愛の尊卑優劣を決定する所のそれ以上更に高い所の他の標準を必要とするに至つたからである。

更に進んで渠等は其盲目的なるは戀愛の精神化され靈化されることが淺い爲であり、其明目的なるは、精神化、靈化の深い爲であり、熟した爲であると說くのである。然らば問はん、其靈化、精神化とは如何なることをいふかと、彼等はそれに對して靈化、精神化とは感覺的な感情が、理性的の感情となることを指すのであると。論じて此に至れば彼等の戀愛至上說は私達の觀てゐる所に全く一致するやうになるのである。而かも戀愛至上といふも、その戀愛は理性化されたる戀愛換言すれば、理性といふ精神的要素で鍊上げられた戀愛で從つて戀愛それ自らではとんと氣にも留めずにゐた理想といふものが、理性の光に照されて初めてハッキリと其姿を現しそこで始めて戀愛自らが自覺して其理想を實現しやうとする戀愛である。かうなれば彼等がいふ所の戀愛至上說は文字通りの戀愛を以て至上とするのでなく、其戀愛の中に藏置されてゐた理想を至上とする說になるのである。かうした譯であ

るから私は戀愛至上論者にいつてる所は、多少いひ方は異なれども、其意味からいへば、私達の觀てゐる所と相一致してゐるといふた所以である。

かくて戀愛は思想となす、思想體系となす、外發して社會の制度となり、又反射して來て再び戀愛を規律する樣になる。

故に自由戀愛を以て放肆奔逸な性的感情と解し、而してそれが結婚の唯一の基礎であるかのやうに考へる所の思想は、家制を責道具にして女を壓迫すると同樣に誤つた思想であつて、而して又女の位置を向上せしめる所の思想ではない。成程自由戀愛の制度――それを可能であると假定して――の下に於いては、女子は自由であり得るかも知れぬ。しかしそれは自由でない。無節度、無規律である。無節度、無規律は、盲目的な本能の作用で、僅に自己及種保存の目的を續けていく處の動物界の事柄であつて、斷じて人間的な自由でない。

九

凡そ結婚、否倫理上から觀て正當なりとせらるべき所の結婚は、その成立する爲に、少くとも次の二つの條件を必要とする、一は結婚の自然的要素で、性慾及愛情等の條件であり二は結婚の意思の條件である、此兩者の何らが缺けてもそれは倫理上に是認さるべき結婚でない。例へば所謂財產結婚、爵位結婚、政治結婚の如きは、若し當事者が明瞭に意思發表をなして、その結婚契約を取結んだとすれば、そこに既に結婚の意思があつた筈であるから、其目的、若しくは動機の倫理上の價値如何に拘らず、さうした結婚でも法律的には正しい結婚といはねばならぬ。併し結婚本來の性質から考へれば甚だ謬つた見解であつて、倫理上到底是認する譯にはいかぬ

然るに之に反し戀愛を以て結婚について、唯一の基準となし、純粹にそれによつてのみ結婚の事を規定せんとするものには、愛情等の自然的要素はあるが、しかし意思の要素は缺けてゐる、故にそれ等は私通等と選ぶ所がなく、倫理的に正當なる結婚でない。

斯樣に倫理的に是認される所の結婚は二つの條件を必要とするが故に、當人又は當人の親兄弟達が、結婚の自然的基礎を無視して、或る政略の爲に強ひて法律上の結婚を成立せしめるのは、倫理上必ず否認しなければならぬ。

此に私が說明しやうと思ふのは、其結婚の意思といふことである。結婚しやうといふ意思は無論經驗的に働く所の意思であり、經驗的に契約を結ばうといふ意思であるが故に、その意思は必ず結婚契約に關した一定の內容を有つたものであらればならぬ、而して其結婚契約の一般的內容は、民族の如何により、文化の程度如何によつて異なるものであつて、一定してゐるものではない。先づ結婚の成立する人數からいつても、或は一夫多妻或は一妻多夫或は多夫多妻等種々あるし其期間からいつても、或は一時的或は生涯的等雜多である。而して今日世界の多くの文化民族の信奉してゐる所の結婚は、人數からいへば一夫一妻、期間からいへば生涯的になつてゐる。我等現時の日本民族の結婚契約に關する一般意識も亦此一般の文化民族の夫と其揆を同じうしてゐる。故に我等が結婚しやうといふ意思を決定し、表示した時には一夫一妻といふことゝ、生涯的といふことゝ、此二つの條件を暗默裡に認諾したものであらればならぬ。而してかやうに意思て精錬された所の性慾、戀愛等は、やがて現れて社會上の制度となつてゐるのであるから、結婚契約を取結ぶ所の意思は其社會制度をも是認したものであらればならぬ。

結婚の倫理的成立はかうしたものであるから、其自然的基礎もないのに、又。當人同士の意嚮をも無視して、或は金錢の爲に、或は門地の爲に、或は權勢のために、或は其他一切の自利の爲に權柄づくで結婚を成立たしめやうとする父兄はたしかに倫理上の犯罪者である。我邦現時の結婚にかうしたのがまだ甚だ尠くないといふことは甚だ慨歎に堪へない事柄てそる。現時の日本式結婚の方式卽ち仲人制度は適當に行はれさへすれば、是は甚だ面白い制度であつて、これについても多少述べて觀たいと思ふことがあるけれども、しかし事餘りに繁瑣に亘るのと、又それよりもまだ重要な問題、母性保護、產兒制限等の問題をも割愛してしまはなければならぬ事情の下にある位てあるから、その點に關する考察を省く(未完)、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

戀愛の倫理

文學博士　吉田靜致

□體驗の重んぜらるゝ所以

最近、歐米の學者の間に、生の哲理とか、生活の哲理とか云ふ事が頻りに說かれてゐるが、一體是はどう云ふ理由によつて、斯うした學說が盛んになつて來たかと云へば、從來の理知本位の哲學、論理一天張りの哲學に對する、反動であると見られない事もないと思ふ。

生の哲學とはどう云ふ事であるかと云へば、お互人間の生、至乃生活と云ふものは、自分に與へられた生を自分自身が生きる、自分で體驗する。而して直觀すると云ふにある、生活の眞の味はひは、斯うした生活態度の人にして始めて理解されるもので、與へられた生活をどれ程分析をしたり、解剖をしたりして見た處で、決して生活それ自身の眞髓を摑む事は不可能のである。たとへば此處に一人の生物學者があるとする。そして生きて動いてゐる蛇なり蛙なりを、徹底的に研究しやうとする時には、その生きて動いてゐる蛇なり蛙なりを捕つて來て、いろ〳〵の方面から研究する。然し其研究方法は飽く迄概念的であり、抽象的である。否、どこ迄も概念化し抽象化する事が學問其物の本領なのである。概念化された生物は眞の生物ではない。生きて動いてゐる生物とは遙かに遠いものなのである。

□戀愛とは何ぞや

私は、今、戀愛の倫理を說かうとするのであるが、此戀愛に就てもそれと同樣の事が云へるのであつて、戀愛とは何ぞやと云ふ事に就て、眞に戀愛の何物たるかを我々に敎ふるものは、戀愛の體驗それ自身である。自ら戀愛の經驗なくして如何に戀愛の何物たるかを研究するも到底徒勞に終るであらう、性の哲理は此うした人間の經驗を無上に尊重するに依つて起る學說であるが、理を尊ぶ哲人の大多數は、さうした知識は其人自身だけの知識であつて、萬人を首肯せしむるに足る學問にはならぬと云つて反對する。卽ち學問なるものは生きた經驗を殺して、その經驗をなる可く抽象化し概念化する所にその特長がある。

戀愛とは何ぞやと云ふ問題に就いて、佛國心理學の大家リボーは、非常に熱心な研究を重ねたが、英國の哲人スペンサーの戀愛學說を讀むに及んで、自分には此れ以上付け加へる事は出來ないと、感歎の辭を放つたと云ふことであるが、然もその戀愛に就いての奧儀を極めた樣な學說を發表したスペンサーも、ジョージ・エリオットとして知られた彼の戀人マ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

リー・アンナ・クロスと別れた。何故別れたかと云へば、彼が生涯の苦心に懸る綜合哲學の完成の爲めだつた。

然ばスペンサーの戀愛の解釋は何であるかと云へば人格美と、樂しき幻想と、情感とを結合せるものが戀愛の内容であつて、此うした内容を持つ戀愛は、當然戀するお互ひを賞讃し且つ尊敬する様になる。そして戀されてゐる男女は何れも、自分は他のものよりも撰ばれてゐると云ふ感情の内に滿足する。更に分析すれば其の境地は、自尊の感情と、愛する者を所有してゐると云ふ所謂所有の滿足もある。そして斯うした感情の中に浸つてゐる時、非常な自由を感ずる。活動の自由の範圍が擴大されて行くのである。是は深く感ずれば感ずる程、益々自分に與へられた自由の領地の廣い事を知るやうになる。そして當然の結論として、同情卽ち相手と我との融合した境地、我は彼であり、彼は我であると云ふ自他融合の境地に入つて、始めて戀愛の奥儀が會得されるのであるとスペンサーは論じてゐる。

□直覺的鑑賞批評の態度

是らのものが全部結合して戀愛の内容を象づくつてゐるとすれば、戀愛は非常に深いものであり、力あるものであると云はねばならぬ。それらの一つでさへも有力な要素であるから、全部が統一され融合されて働いてゐるとすれば、大抵の力は戀愛には勝てない、及ばないと云ふ事になるであらう。然し斯く論じて見た處が、戀愛の眞味が會得されるものでもない。生活と云ふものは自ら生くる事によつて、始めて會得されるものである。ただ斯うして徒らに論ずる事は却つて生活そのもの、戀愛そのものを殺すと云ふ結論に到達するであらう。たとへば畫家の畫いた繪を鑑賞するにしても、專門家は其繪を細かく分析し、構圖がどうであるとか、色彩の調和がどうであるとか云つて批評を試みる。然しさうした分析批評で繪の眞髓が解るかと云へば必ずしもさうではない。否却つてさうした批評的の研究態度は、美術の眞髓を逸して了ふと云ふ事になる。繪畫に對する專門的知識を持つてゐない吾々素人が、一目見た瞬間、批評的精神は働かないけれども、直覺的に是はいゝとか惡いとか感ずる。そして此直覺的鑑賞批評は、却つて專門家の分析批評よりは、眞を捉へてゐる事が多い。美術品を全體として樂しめるのは、專門家よりも素人の方にあるかも知れないと思ふ。

□倫理の根本は人生問題

人間の生命の燃燒である戀愛を、味ひ且樂しむと云ふ事も殆んど是と同一であるが、然もその戀愛を倫理上から觀察しやうと云ふのだから非常に六ケしくなる。

こゝて一寸申述べて置きたいのは、倫理と云ふ問題に就てである。私の考へによれば、倫理の問題を解決せんとすれば勢ひ、その根柢となる人生觀を確立し、それによらねばならぬと云ふ事であるが、是はひとり戀愛のみならず、戰爭にせよ、國際問題にせよ、吾々の確立した人生觀によつて始めて解決されるのである。

私の人生觀を一言にして述べれば、人間は他の動物、存在

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

物とは本質的に異ふと云ふ確信にある。更に是を碎いて云ふならば、人間は他の動物と異つて單なる生理的存在物ではなく、精神的のものである。即ち嚴肅な精神生活を送つてゐる其精神生活とは何であるかと云へば、同一體の普遍であると云ふ點に特長がある。吾々お互は身體と云ふ點から觀察すれば、皆異ふ。世界十六億を數へる人間も誰一人として同一なものはない、同一の容貌を持つてゐるものはない。甲乙丙丁皆異ふ、是は精神生活から云つても同じ事であるが、然し全然異つてゐるものであるかと云へば、否と答へざるを得ない異つてゐるやうであるが決して異つてゐるのではない。即ち吾々お互は「自分自身」と云ふ特殊の相を以て象づくられてゐるが、その特殊の相は同一體の普遍である。特殊化されたる萬人共通の普遍である。特殊丈けの特殊ではなく、人間てあると云ふ點に於て皆同一だと云ふ信念の上に立たなければ、吾々の唱へる倫理はその立場を失ふ事になる。人間は同一の普遍だと云ふ事を信じないで他人を愛するのは、單なる動物と何ら選ぶ處がない。自分の尊い事を眞に理解してゐる者にして始めて他人を尊ぶ事が出來る。自分を眞に愛する事の出來る者にして、始めて他人を愛する事が出來るのであるこゝに於てか吾々は、普遍の自分を完ふし、且是を立てゝ愛し尊ぶと云ふ事が必要になつて來るのである。

□我とは普遍の自己

是を知らずして愛他主義を唱へるのは全然無意義な事であると云はねばならぬ。何となれば、吾々が普遍の自己を知らずして他を愛するは、是も一つの自利に過ぎないからであるよく犧牲の生活を高調する者即ち愛他主義者は、己をすてゝ他人の爲めに盡くせと云ふ。然し己をすてゝ何になるか、己をすてると云ふ事は何ら意味がない。他人の爲めに盡くすと云ふ事も、他人と云ふ一個の個人の爲めに盡くすに過ぎないから、根本から云へば是も一つの自利主義に外ならぬ。

「我は普遍の自己なり」と云ふ信念は、あらゆる倫理の基調となるべきものであるが、是はひとり一個人の人間にのみ適用すべきものでなく、政黨に對しても、國家に對しても同一の事が云へるのである。即ち或政黨が自分の政黨のみを認めて他に政黨あるを知らず、或國家が自分の國家のみを認めて他の國家を認めないと云ふのでは不可ない。特殊の政黨、特殊の國家のみを認めて他を顧みないのは、何れにせよ、普遍の自己に目醒めてゐないからである。戰爭とても同じである。吾々は普遍の自己であり、同一體であるとすれば爭ふ筈がないではないか、同一の普遍である吾々お互が戰爭などをする筈がないではないかと、疑問をさしはさむ人がある。同一の普遍、人格者であり乍ら我利々々の生活をするのは何故であらうとは、可なり深い疑問のやうでもある。

□救ふには手荒な處置も必要

たとへばこゝに救ふと云ふ事がある。或一人の人が激流の中へ落ち込んだ。是を救はふとするには普通の手段では駄目だ。手荒な處置をとらねばならぬ。即ち髮を掴んでなりと、是非引上げねばならぬ。髮を掴むと云ふ事は手荒い事ではあ

るが、激流に落ち込んだ人を救ふには是非ともさうせねばならぬのである。斯うした信念に立たず徒らに他を倒すは動物のする事で、吾々お互は、人間らしい生活をする必要上、罪悪の激流に落ち込んでゐる者を救ひ出す意味に以て、戦争するならば戦争も又大いに歓迎すべきものであらう。

更に是を最近の社會問題に見るも、同一の感なきを得ないものがある。勞資の經濟問題はどうであるか、資本家は成るべく安い賃銀て、成るべく仕事の能率が上るやうに勞働者を使役しやうとする。勞働者は勞働者で成るべく樂をして、成るべく餘計の賃銀を貪らうとする。資本家の我利と、勞働者の我利とが鉢合せをするから、勢ひ、衝突せざるを得ないのである。是は何故であるかと云へば、吾々は普遍の自己である、同一體であるとの人生觀が彼らにない事に起因する。

□戀愛の倫理も又此例に漏れず

戀愛の倫理もこゝに基礎を置くべきものであるが、吾々お互が異性を見て戀を感ずる。その瞬間にさて我の態度は、特殊化された普遍の立場にあるかと顧みる必要があるか。よし顧みる必要があるとしても、戀してゐる瞬間にとてもさうした餘裕はないてあらう。其場合には分析したり、解剖したりして、自分の精神や態度を冷靜に研究してゐる餘裕のありやう筈がない。若しその餘裕がありとすれば、戀してゐるのではない。眞の戀愛から離れてゐると云はなければならない。

こゝに於てか平素に於ける修養が必要になつて來る。修養ある人は、修養によつて精神生活の築き上げられてゐる人は、戀する場合に必ず特殊即普遍の人を選ぶ事になる。此點を最もよく吾々に教へてくれた者は希臘の哲人アリストテレースである。「眞の善とは何ぞや」と云ふ質問に對して、彼は「眞の善人が善だと思つたものが善である」と答へてゐる。是は何でもない事のやうに思はれるが、味へば非常に面白い意味が含まれてゐる。人間の誰でもが持つてゐる食慾でも、健康な人の食慾と、病人の食慾とは非常に異ふのである。健康な人は眞に食はねばならぬ必要の生じた時に食慾が起るのであるが、病人は食ふてはならぬ時、食へば身體を痛める場合にも食慾が起るのである。故にその食慾の儘に盲動すれば必ず一身の破滅を來たすやうになる。

此點から云つて、平常修養の出來てゐる人、精神生活の成つてゐる人が、數ある多くの異性の中から此人ならいゝと云つて選び出した者なら、必ずいゝ人に相異ないのである。胃の惡い病人がさながらに、惡い胃を更に惡くする様な食物に涎を流してゐる様に、教育のない人、修養の出來てゐない人は、自分を毒するやうな、滅ぼす様な者をも愛するのである。

スペンサーの所謂理想の戀愛、その相手を賞讃し、尊び、且崇敬するやうな戀愛は決して發作的に、瞬間的に出來る事ではない。動物的でなく、感覺的でなく、彼と我とを理想の權化として崇敬し合ふ戀愛は一日や二日の修養によつて與へられるものではない。戀愛にも數多くの階段がある。高きと低きと優劣高下の差は、吾々の人格の反映と見なければならない。

こゝに於てか平常の修養が大切であると云ふ事を、再び繰返さゞるを得ない。衛生と云ふ事も單に食ふ時丈け、注意しても效果のあるものでもなければ、徹底するものでもない。平素の修養が必要であり、考へ方が必要であると云ふ事になる。本能的感覺的の戀愛と、理想的人格的の戀愛と、形は同一でも内容は天地の差があるのである。スペンサーの云ふが如き理想的戀愛は、決して一時の衝動乃至氣分などによつて出來るものでなく、一生涯を通じての修養の基礎の上に立つて始めて實現されるものであると私は深く信ずる。（廓清會講演大要）

（文責記者にあり）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

犯罪豫防の現代觀

警察講習所長
法學博士　松井茂

□災害は共同の責任

時代が進むに從つて、人間の世界に災害がなくなるかと云へば、必ずしもさうではない。否、却つて文明になればなる程、災害と云ふものが年々増加してゆく傾向がある。

先づ、交通事業の發達につれて、所謂交通事故による災害人口稠密に原因して起る惡疫の流行等を始め、智識が發達するに從つて、巧妙な犯罪事件などもそれ相應に增加して來る。そこで當然の問題として、それらによつて生ずる災害を防止しやうとする運動が起る。我國でも最近災害防止協會とか云ふものが創立されたやうであるが。それと共に米國邊から直輸入されたと思はれる、安全第一と云ふ標語が重んぜられるやうになつて來た。安全と云ふものは人類の誰でもが希求してゐる處であるから、我國でも此例に洩れず、昔から家内安全、國家安全、往來安全などと云ふ事が頻りに唱へられてゐる。

それは兎に角として、私がこゝに述べやうとする、犯罪豫防の問題は非常に六ケしい問題であらう。犯罪事故は何故に生ずるか、是は罪を犯す其人自身の原因にもよるが、他の原因として社會組織の不完全をも擧げる事が出來るやうに思ふ。此社會に生ずる如何なる災害にもせよ。それは社會に生存してゐる人間の共同責任だと云ふ事を忘れてはならぬ。社會には種々の機關、職業等があつて各自種々の部門を受け持つてゐるけれども、それは恰も吾々の身體のやうなものであると思ふ。身體の各機關には、目あり、鼻あり、口あり、手足内臟機關等〻種々なものがあるけれども、それが自己と云ふものに統一されて、何れの部分と雖も孤立して働いてゐるものはないのである。それ故、犯罪乃至犯罪によつて起る災害も、吾々人類の共同責任であると云ふ事を深く考へて見る必要があらうと思ふ。

□報復主義の昔の警察

畢竟するに社會に生存してゐるお互は、昔の人の所謂「持ちつ持たれつ」である。罪人であるからと云つて決して排斥すべきものではない。罪人であつても人類の一員である限りは、一個の人格者として尊敬すべき義務を持つてゐると思ふ。今日の如く外來思想の跋扈が甚だしく、且物質文明の極度に行詰つてゐる不健全な社會に於ては、若しも是を自然の

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

儘に放任して置くなれば、生存競爭による落伍者の生ずるのは是又當然の事と云はねばならぬ。そこで吾々は此社會の落伍者に對して、災害に於ける場合と同じやうに、連帶の責任を感ずる事が必要になつて來る。

詰り、吾々人類は縱にではなく、横に結ばれて行く事が必要なのである。災害豫防主義は斯うした要求によつて生じたものであつて、即ち既に罪を犯してしまつた所謂罪人をせめるよりも、罪を犯さないで濟むやうな社會を造る、又は、將來に於ても罪を犯さぬやうに、其の罪人自身を導いて行かうと云ふにある。處が是迄の人はさうした遣方ではなかつた。否、なかつた許りでなく却つて報復主義を取つたのである。罪人が刑罰をうけるのは當然の事、即ち因果應報であるから何ら同情すべき理由がない。却つて刑罰を與へる事が吾々の罪人に對する當然の報復だとする。昔の警察も大抵斯うした報復主義の上に立つてゐた。それから一切の警事政策も出て來たのであるが、今日に於ては大いに改善すべき必要に迫られてゐるのである。

□コラ〳〵的遣方では駄目

今でも尚一般家庭に於てすら、此報復主義を利用する野蠻な親達がある。惡い事をしたと云つては、惡戲をしたと云つては叱り飛ばす、何らかの刑罰を與へる。斯うした報復主義は今日のやうな進んだ時代に於ては、最早通用しない。通用しない許りでなく、百害あつて一利なしと云ふ譯になる。惡い事をした子供を叱り飛ばした處が、徒らに其の子を反抗的にする許りで何にもなるものではない。それよりも子供の將來を考へてやる事が必要である。さうした過失を再び繰返さないやうに、さうした罪を再び犯さないやうに親切に何かと面倒でも見てやつた方が、どれ丈け有效であるか分らないと思ふ。警察でも又然りで、徒らに從來のやうなコラ〳〵と云ふ遣方では、到底罪人を救ふ事は出來ないのである。こゝに於てか今日以後の警察は報復主義を棄てゝ、犯罪豫防主義に向つて進まなければならぬのである。此點よりして吾々は、罪人の一人と雖も是を疎外せず、一個の良民とする爲めに努力する義務があると信ずる。

□刑は刑なきに如かず

歐洲戰爭以後、世界各國を通じて不良少年が著しく增加したと云ふのは最も確かな事實で、從つて犯罪事件もそれに比例して、非常に增加して來たと云ふ狀態である。是らに對して吾々は如何なる處置をとるべきであるか、所謂『刑は刑なきに如かず』とあるやうに、人をして罪を犯さしめぬやうに努力しなければならぬ。即ち罪人を罰するよりも、罪人をなくする事が必要である。人の失敗するを待つて鎭壓するよりも犯罪の豫防こそ警察官の最大任務としなくてはならぬ。此點から免囚の再犯豫防と云ふ事が、最近頻りに叫ばれてゐるのは當然の事で、『免囚保護は盜賊よけの守り札』と云ふ諺はよく這般の眞理を道破してゐる。何故犯罪事件が多くなるかと云へば、免囚の再犯者が多いからである。何故免囚の再犯者が多いかと云へば、一度刑をうけて出獄した場合に、それ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

らの人に對する社會の多數人の態度が餘りにも冷たいからてある。『前科者』と云ふ名稱の下に相手にもされないやうては、どうしても再犯者たらざらんとするも得ないやうな有樣てある。

□監獄は學校の一つ

最近、世界思潮の大勢てある勞働問題並に婦人問題と共に監獄改良の問題、監獄を改善すべしとの問題が勃然として起つて來たのは、眞に當然すぎる程當然な事てあらう。應報主義報復主義から見れば罪人を監獄の中にぶち込んて苦しめるのは當然の事てあるかも知れない。然し罪人と云ひ囚人と雖も、吾々と同じ人間てある事に相違はない。同じ人間が同じ人間を獸のやうに取扱ふと云ふ事は、果して正しい事てありや否や是は實に六ケしい問題てある。兎に角刑罰に絕對權を認める方法は、あやまつた方法てある事丈けは確かてある。吾々は囚人の人格を認めるならば、犯罪に對する報復主義を全然放棄して、囚人罪人の改善を圖ると云ふ事に力を盡さねばならぬ。それが吾々のなすべき何よりの急務てあり、且義務てあると私は信ずる。

犯罪人を監獄へ投ずるのは、投ぜらるゝ罪人自身を改善する爲めて、單に犯罪に對する當然の應報として刑罰を與へると云ふ意味てはない。『監獄は一つの學校てある』との言葉はこゝに於て眞理になるてあらう。たとへば現今監獄に於ては、何らかの仕事をさせる事になつてゐる。是らも骨の折れる仕事を課して苦しめやうと云ふ意味てはなく、出獄後に生活に困る事がないやうにと云ふ愛情の發露から、職業を授けるのだと云ふ事になつてこそ、始めて監獄の存在も意味あるものゝ一つとなるのてある。

此點に於て米國などは眞に模範國と稱すべきものてある。その監獄の改良は所謂至れり盡くせりと云ふべして、囚人同士の自治制度迄が布かれてゐると聞いては眞に感嘆せざるを得ない。中には自分から志願して囚人となり、そして囚人の生活をその身に體驗して、監獄の改良を圖つてゐる者もある位てある。

□免囚保護事業の必要

今や監獄そのものが一つの社會問題となつてゐる。監獄の如何は其國の文化の程度を示す標準になると迄云はれてゐるが、是も又もつともな事とうなづかれる。

監獄の改良を圖ると共に、もう一つ吾々の閑却してならぬものは出獄人の保護事業てある。出獄後、世間の人に冷たくされる爲め再び罪を犯すやうになるのは、よく世間にある例て決して珍らしい事てはない。故に吾々は免囚人に對しては充分の愛情を以て接する必要があるのてあるが、稍もすれば此社會には極端な論者があつて、罪人を大切にするのは國法の威嚴を損ずる。社會風敎を害すとか云つてゐる。是なども一寸聞くともつともなやうに思はれるが、よく考へると取るに足らない議論てある事が解らう。犯罪に對して刑を施行されたなら、既に帳消しになつてゐる筈で、出獄後迄も苦しめねばならぬとは全く意味を成さぬ事てあらう。斯うした質問

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

はよく地方の青年團などの間に起る。地方の青年團の團長は重に郡長がやつてゐるが、郡長さんは團員に向つて常に模範的人物になれ、罪を犯す勿れと云ふ。然るに罪人を保護せよとは何だ、矛盾ではないかと攻擊する者があると云ふ事を私は聞いてゐる。免囚保護事業は、歐米諸國に於ては非常に熱心なもので、政府から莫大な補助金迄も出して是を後援してゐるが、我國の現狀は眞に憐れむべき狀態である。我國に於ける免囚保護會は約六百五十程あるが、實際の處やつてゐると云ふ丈けの話で、立派な成績をあげてゐるものはほとんどない。

□罪人に對しては寛大であれ

先づ免囚保護に就て必要なものは、職業紹介と、家族保護と、自分の家に歸れぬ事情の下にある者に一時の宿泊所等を始め、授産所の設置も目下の急務とすべきものであらう。そして國民一般が是らの事業に從事してゐる者を、後援すると云ふ事も必要な事である。

然しこゝに注意すべき事は、同じ罪人であつても改善の可能なものと不可能なものとがあると云ふ事である。どんなに努力しても改善の到底不可能なものとして、精神的變疾者をあげる事が出來る。何故に罪を犯すかと云ふ問題に就て、內因と外因の二つをあげる事が出來るのであるが、外因、詰り生活上境遇上から來るのは取除く事が出來るのであるけれども、以上あげた精神的疾患者の內因は到底取除く事が出來ない。何となれば是らは反社會的で、指導する事が出來ないからである。

さればとて、『汝は改善不可能なり』と云ふ事は、如何なる場合にも斷言したり宣言したりしてはならぬ。何となれば、斯うした絕望的の事を云はれた事によつて、愈々自暴自棄に陷り惡化する恐れがあるからである。

最近我國でも青少年の犯罪が非常に多くなつて來た。是らに對する取扱ひは殊更愼重にせねばならぬ。小學校などでも、父とか、兄とか乃至家族の一人が入獄した場合には、其の在學中の弱い生徒は、級友から非常に侮辱されたり、虐められたりするとの事であるが、實に悲しむべき事と云はねばならぬ。たとへ父が入獄したからと云つてその子に罪はない筈である。深い同情をそゝぐ必要こそあれ、それなくてさへ心の僻みかゝつてゐる子供を虐めるとは、實に慘酷な處置として非難すべき事であらう。

米國などでは、こんな事がない許りでなく家族を保護する方法迄が講じられてゐるさうで、眞に羨しい事である。故に我國でも其の家族を虐めぬくらゐの雅量はあつて欲しいと思ふ。

警察官が是迄橫暴であつた事も大なる間違ひの一つで、丸で人格を無視した事を云つたり、したりした爲めに、罪人をして益々反抗的に、自暴自棄に陷らしめたと云ふ點に就ても警察官當局たるもの充分の反省をする必要があると信ずる。

（文責記者にあり）

關西及中國地方公娼私娼

木藤冷劍

本號には近畿地方の賣笑婦分布情態を述べる事とする。

□兵庫縣の賣笑婦

兵庫縣には十ヶ所の貸座敷があつて、二千二百〇六名の娼妓がある最も多數なるは神戶の二ヶ所である一ヶ所は福原一ヶ所は新川である外に姬路市、明石市の兩市にある外、武庫、揖保、飾磨、加古多紀、津名の各郡にもある之を數字に現すと兵庫縣全體を通じて二百二十四軒の貸座敷あり內神戶に百十三戶、西宮に三十八戶姬路十戶室津三戶淋保十戶高砂五戶篠山十二戶洲本十九戶明石市十四戶である之を大正八年と大正九年度の比較せる調査を見るに左の如くである。

種別年別	大正八年	大正九年
娼妓數	二、一七三	二、二〇六
娼妓登錄數	九九三	五三四
娼妓名簿削除數	一、一五七	四三三
貸座敷登樓人員	一、〇五六、六八九	一、一二五、一〇八
貸座敷費消金額	二、七六二、七〇八	四、一五七、二九八
藝妓數	三、五七五	三、八二四
酌婦數	四、七五七	五、二二六
料理店數	一、九八一	二、〇九二
飲食店數	七、九四六	八、七三六

神戶市の公娼は福原と新川にあり、私娼は、山の手方面から三の宮方面にかけて、薄暗い夜の街に厚い脂紛の粧を凝らして盛に出沒する、此中に高等なのは北野町一丁目から山本通り一丁目附近にある、今公娼の模樣を附記する。あまり斯うした方面の事を委しく記すは好まないが、いかに樓主が暴虐をなしつゝあるか詐僞に等しい行爲をなしているかといふ事を、一般に知らしめんがために、最近發行の同地の樣樣をよく調べてある「夜の神戶」記者の一文を拜借しやう。——

前略——引つけ部屋に張つてある「定」と書かれたあまり上手でない貸座敷業組合の規定では、その女達がいかに安價に男の肌にふれて行くかと思ふだらう、けれど一晩大低一人の女で十人位の「花」の客に接しさして六七人の廻し部屋の客を受け持ち、更に二階仕舞切一人は必ず持たねばならないと聞いては、其の勞働のいかに苦痛であるか眼を見はるだろう、其が此福原にどんな小さな家——此の松月樓——もあまり大きな部ではない——でもあると聞いては更らに〱驚かずには居られないのである、そして殊に惡辣なる或は通常の如くどの樓でも行はれて居るのかも知れないが、仕舞切といふ最上級の泊りで定め通り二階仕舞の三倍十三圓五拾錢と、おばさんと番頭に與へる祝儀共で十五圓內外を仕拂つても、やはり其女は他に少くも二三人の客を取らせられるといふ、云々此は僅かに其一部分であるが、彼等七八等は遊客に全部を賣つた代金を取り、夫を又幾人かの嫖客に賣つて、二重取をなしつゝあるのである。誠に憎みてもあまりある惡業ではないか。福原貸座敷の組合規定の定

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

とはどんなものか、一、花一圓五十錢、廻し、二圓一部屋廻し三圓五拾錢、二階仕舞四圓五十錢、仕舞切二階は舞三倍とある。之は大正十年五月發表のものである。現に今之を實行してゐるのである。

神戸の私娼は目下どんな情態かといふに、最近其道の人の調べによると比較的上等のものは、北野町一丁目邊に重として城をおき堂々たる邸宅を構えて巧みに警眼を晦してゐる。稍下つては中山手二三丁目下山手通り二三丁目の魔窟ては一見西洋料理店バーの如く設け、女は仲居女給を裝ひて肉に飢た男の慾求を滿して居る、此等は可成りの上等の方てあるが、北長狹通り二三丁目元町三丁目三の宮三丁目などの鐵道側飲食店チヤブ屋に巢食ふ私娼に至りては、全く下等て店先に佇んて通りかゝりの男を見れば呼びとめて賣淫を强て居るのてある、彼等の多くは女工なぞのなれの果て、身なりなど垢染みた着物にヨレ／＼になつた帶をぐる／＼巻にして居るが、山の手方面のは中には嫁入仕度をするために淺猿しい事をする素人娘や、夫の不在勝に乘じて小使取をする船員の妻や、甚しいのになると女學生などもある、彼等は男に操られ又は失戀の果て自暴自棄に陷つて此の仲間に入るもの多く、中には田舍から都の華さに憧れて出て來て惡紹介業者などに欺されて魔窟に入り、拔きさしならず泣く／＼醜業に入るものもある。三宮署管內には約百軒の魔窟があつて飲食店の許可を受けてゐるのが、三十五軒洋酒菓子の看板が二十軒、素人屋が三十五軒其他八軒て醜業婦は百五十名乃至二百名、て警察當局ては嚴重に取締をなし飲食店料理店には仲居の數を制限するため、之等は比較的增加せぬが小使取りに稼ぐものは益々增加して行くのである。年齡は二十才以上二十五才未滿のもの最多を占め、百人中五十人て次が二十才未滿二十八人最年長者には四十二歲の姥櫻もあるのてある、彼等の半數は花柳病患者てあるとの事てある。

客を引くのは所謂ポン引と稱する外人相手の惡車夫が盛んに手先となつて客を喰え込み、一人每に花代の五分を貰ひ殘金は本人と主人と四分六に分ける、從つて客から十圓の花代を取つて本人の手に入るのは僅かに二圓てあるとの事てある、都會生活には賣淫と私通とは免れないものとは云へ誠に淺間しい事てあるしかも夫が公許されて居るに於ては。

□大阪京都方面

大坂の方面はどうかと云ふと、昨年度即ちの嫖客數は全市の人口の二倍になる即ち十年中の登樓者三百七十七萬二千〇五十名といふ此金額が二千三百三十一萬四百四圓といふのてある。之を各所の軒別に調査すると南地五花街や新町堀江、松島、飛田、曾根崎新地て千五百二十一軒その內二百戶以上あるが、松島二百七十五軒新町二百四十二軒難波新地二百三十二軒てある。娼妓人員は大坂全部て七千百七名てある。これは殆んと松島と飛田て持てゐる全般の內松島は全般の五割五分飛田が約二割殘りの二割五分か前記の場所に散在してある、藝妓の總數は四千二百二十三名て其の內主なものは曾根崎新地が全體の約二割三分の九百八十一名新地分約二割の八百十二名て宗右衛門町が約一割五分て六百四十九名て、飛田は七十三名に過ぎない、此廓に落ちる費消金額て商船を造つたら一萬噸級の商船が七八隻も造れるとの事てある。

京都府警察部管內の賣笑婦情態はどうてあらうか、調査によると、市部に八ケ所の免許地がある、西陣署轄に二ケ所松原署轄三ケ所、堀河五條、七條、各ケ所の免許地がある、貸座敷營業千七百二十六戶ある娼妓は二千二百四十七名居る。

所名		貸座敷數	娼妓	登錄	削除	遊興人員	費消金員	藝妓
西陣	二	一七〇	四八四	三四九	二四三	六七一、二八四	五九八、二八七圓	一六六
松原	三	一、〇二六	六三三	八〇九	八一六	一、〇四六、六〇五	一、〇四六、六〇五	一、二九九
堀川	一	一一九	二六三	一四九	一五四	五六、六九〇	五六、六九〇	四七
五條	一	一八〇	一七	九	一一	五五、四四七	五五、四四七	二三六
七條	一	二三一	八五一	五一九	四六六	一七六、三七四	一七六、三七四	二五
市部計		一、七二六	二、二四七	一、八三五	一、七九〇	一、四〇二、五〇〇	一、四二〇、五〇〇	一、七七三

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

表別すると左の如くである更に郡部を合せると十六ヶ所になる、二千九十九戸の貸座敷があり、三千二百六十一名の娼妓があり、二千五百七十名の登錄者あり、削除人數は二千四百十七名であつた、藝妓は二千四百九十三名であつた。

□岡山縣の賣笑婦

岡山縣に於ては藝妓大正八年六百四十八名あり、九年に七百六十名に增加して居る。料理店大正八年千三百五十七戸あつて九年には千三百五十名に增加し、飮食店千九百四十四名九年に二千百三十八名となつた、貸座敷公許地は一市七郡にある岡山市、津山町、九幡村、日比町、牛窓町、玉島町、倉敷町、笠岡町等にある。

	貸座敷	娼妓	登樓人員	費消金費
岡山市	一三四	四三七	一三〇、九七四	七三、五九二
津山町	一九	九五	一四、〇九六	六六、九一二
九幡村	二	五	二三五	二、三一八
日比町	二四	六六	九、八五六	五〇、一四七
牛窓町	二	七	五六二	一、五三二
玉島町	一〇	二四	三、五五七	一五、三三二
倉敷町	六	四三	八、九一七	二五、一八五
笠岡町	一三	四四	六、三六三	三八、一二二
計	二〇九	七三二	一六四、四五〇	一、九三二、七三三

岡山市に於ける、公娼の情態詳細を見ると左の如きものがある。

大正九年度娼妓名簿登錄者三百十名である。之人員の中娼妓となる原因を見るに家計補助九十八人借金返濟が二百十二人であるそして彼等の前職業別を見ると娼妓をなせし者二百十六名藝妓二十五名仲居四七、無職二十二名であつた(昨年八月號賣笑婦と都市影響下參照)余が昨年橫濱にて調査せしものと略同結果を見るのである。更らに前借金を見ると一人平均千五百六十九圓餘になつている。更に削除別を見ると死亡が十二名あり、轉籍百三十九名逃亡十三人自由廢業一人親元身受五十三人落籍四十三人計二百六十一人であつた。更に彼等の年齡を見ると二十歳以上二十五歳未滿が最多であつた

十九歳	五二	二十歳	五九	二十一歳	四〇
二十二歳	三七	二十三歳	三四	二十四歳	三
二十五歳	一九	二十六歳	八	二十七歳	二
二十八歳	五	二十九歳	四	三十歳	四
三十一歳	一	三十二歳	二	三十三歳	二
三十四歳	一				

であつた、更に出生縣別を見ると岡山縣の六十四名を筆頭とし、廣島縣の三十名兵庫縣二十一名、高知十三名福岡十一名東京市十五名、長崎縣七名、京都府五名熊本縣八名、香川縣三十六名、愛媛縣二十七名、大阪府二十一名の外他は何れも二名乃至三名にすぎなかつた。(以上次號)

余世界に鳴り響いた醜業婦國の日本が愈々國際聯盟婦人兒童賣買問題に加盟することになつて二月大使館參事官の奧山清治氏がその常設諮問委員會の帝國委員に仰せつけられた、この問題はすでに千九百年にその端を發し千九百四年卽ち日露戰爭の時に各國間に條約の案が出來て同十年に至つてはじめてイギリス、フランス、ドイツなどその他の間に條約と成つて表はれたそれを今度國際聯盟で引きついでやらうぢやないかといふことになつた、條約の內容は要するに二十歳以下の女に醜業をさせてゐることがわかれば重罪の刑に處す二十歳以上でも脅迫したり誘拐に依り醜業せしめたならば同樣重罪の刑二十歳未滿の女であればそれをさせたものに對して刑を科すといふのであつてつまりその自由意思によつて醜業しようと欲するものゝみにさせたらどうかといふのが根本になつてゐる昨年になつて各文明國では賣買の年齡を二十一歳といふことに訂正したから日本でもこれに入るのにはやつぱり現在の十八歳といふのを二十一歳と訂正せねばならなくなつで來るそこで文明國と自稱してゐる日本はそんなわけだから現在インド、シヤム、トルコなどゝお仲間で留保付きといふみじめなところにある兎に角文明國と稱して諸外國と肩を並べてゐる日本がこんなことぢや仕方がない、我國では代議士連などは女郞屋料理屋などからたんと金を貰つて遊廓問題とか何とか銘打つて一般淫賣婦の年齡を十六歳に下げようなどゝいんだ運動をやつてる位だ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

自殺、殺人、家出の頻發

日本女子大學校長　麻生正藏

東京の道路の如きは實に殺人道路とさへ呼ばれてゐる始末である。斯くの如き道路に子供をして遊戯に熱中させて置くことは危險至極の話であり、予が聲を勵まして遊園の設備を要求する所以である、總じて都會は刺戟の多いところへ持つて來て、入學難とかいふ問題で、子供の神經は彌が上にも尖つてゐる。其の尖つた神經を和げるのは、何の顧慮する處もなく遊べる遊園に如くはない。子供は將來社會、國家の中樞を成すものである。社會、國家改善の根本は蓋し此の邊より發せねばならぬ。

□惠まれざる子供

過日東京朝日新聞の鐵箒欄に、小供が往來に群衆して棒を振廻したり、球を投げたりして通行の者に少からぬ脅威を與へてゐる。親權者は宜しく注意すべきである。との投書が見えた。すると翌々日の同欄に、それは子供が惡いのでもなければ、親權者の不注意でもない、子供の遊戯を好む心は天の與ふるところで、親權者と雖も之を抑壓することは難い、惡いのは市當局であつて、子供に遊戯場を造つてやらぬ市當局の無責任から來てゐるところのものである、との反對論が見えた。予は非常なる興味を以て此の論爭を拜見した。

子供の遊園のことに就ては、予は二十年來研究してゐるものである。殊に近來著しく交通事故の發生が頻繁となり、

□遊園を造れ

東京市でも近頃此の邊に少しく目醒めて來たやうであるが誠に愉快に堪へないところである。しかし、未だ／＼目醒め方が足りない。慈善病院のやうなものは可成出來てゐるが、少くも其の程度と熱心を以て子供の遊園計畫に當つて貰ひたいものである。病院計畫は人體に關する消極的施設である。遊園計畫は積極的施設である。消極的施設の必要なしとは決して云はぬ。しかし、積極的施設の、消極的施設に遲るゝの理由は　い。

北米合衆國に於ては、至るところにプレイ、グラウンドと稱して子供の遊び場がある。そして玄人の指導者が居つて遊戯萬端の指導をして子供に樂しい一日を與へて居る。遊園の設備は米國が今のところ一番完備して居る。我國でも遊園の設備に着手する前に、二三年米國に人を派遣して、實際の仕事をやり、充分の研究を積むが好い。

遊園に指導者を置くことは勿論必要であるが、子供々々には監督者を同伴せしめねばならぬ。又出來ることなら、遊園に附屬した圖書館を造りたい。能く學び能く遊ぶの精神が斯くて完全に實現される。遊園の設備も此處まで達したなら、恐らく完全に近からう。

□貧民教育の急務

貧民の爲めの敎育、之も遊園と共に常に予の腦裡を離れないところのものである。それは夜學校でもよろしい、職業敎育を施すことが貧民階級を救濟する最も優良な方法であらうと考へる。職業敎育とは職業を中心にし、之に一般の敎育を加味したものである。例へば或地方に於て製糸が生産の中心であるとしたなら、貧民敎育は製糸に關する敎育に重きを置き算數讀書とかいふ一般敎育を之に加味するのである。斯くすれば、常識を養ふと同時に、職業に對する智識を養ふことを得、學校を卒業すると同時に、其の職業に從事することが出來、生活の脅威を著しく輕減することが出來得るのである。

貧民敎育は此の世の改善であるのに、此の方面に宗敎家の少しも活動しないのは一體何うした譯であらう。宗敎家が率先してやるのに斯んな適當な事業はあるまいと思ふ。宗敎家は眠つてゐて少しも働かぬではないか、金、金と金ばかり欲しがつて居つて（勿論どんな事業にも金は大變必要ではあるが）他のことには手が付かぬといふ心細い有樣である。說敎に金を取つてゐるものがあるが、これでは道を聽いても、不知不識の間に第一に金のことを考へさせる動機になりはしないか。

□似而非宗敎家に呪あれ

宗敎の社會化といふことは、宗敎家の果すべき大きな使命の一つであらう。實際に就て見るのに、宗敎は金錢化こそして居れ、少しも社會化して居らぬ。慈善事業と稱して演劇をやり、其の上がり高を私の懷に收めた話を聞いて居る。宗敎家の假面を冠れる者よ、宗敎を喰物にする者よ、呪はれて居れ。世の中で最も卑しき者は彼等であらう。

自殺とか、殺人とか、家出とかいふ不幸なる出來事が此頃日々の新聞を夥しく賑はして居る。此頃の氣候が、斯樣な事件を惹起せしむる大なる原因であることは、毎年の統計に現れ來つたところであるが、今年は特にそれが多いやうな氣がする。これは物質上にも精神上にも、社會狀態が非常に動搖し、人心の安定を缺くところから來て居るものに相違ない。全く社會狀態の不安今日より甚だしきはない、各人其の歸趨するところを知らない有樣である。皆、苛々した氣持を有つて居り、其の少し高じたものは、自殺とか家出とかに依つて、此の苛々した、謂はゞ地獄のやうな此の世の苦しさから脫却しやうとするのである。

此等のものを、現世の地獄から救ひ出すのは宗敎家の使命である。宗敎家は須く宗敎の社會化を圖り、人々をして此の世を捨て去らしめざるやうにせねばならぬ。而して此の問題を徹底せしむるには宜く子供の修養から掛からねばならぬ。仍て前に述べた子供に關する設備が考慮の中に取り入れられる。

◉洲本町遊廓移轉運動

兵庫縣洲本町の遊廓は、玄關口なる埠頭に軒を並べてゐるので、同地婦人矯風會長の稻本時女史等が熱心に移轉運動を始めた。

◉二見遊廓移轉反對運動

新潟縣佐渡郡の二見村遊廓を町の中心に移轉せんとする醜運動が起つたので、同地の高橋久子女史は援助を代議士田川大吉郎氏に求め、田川氏は更に本會に後援を乞はれ、別項所載の陳情書を內務大臣に呈出した。

◉鳴子町の遊廓設置運動

宮城縣鳴子町の溫泉は古來有名の地であるが、今度此地に遊廓設置運動が行はれてゐる。その理由は町の繁榮策としてだといふのだから驚く。

女子に對する禮儀を敎へよ

東京府立第一高等女學校長　市川源三

□二重道徳の弊風

過般東京に於て開催された全國女學校長會議の議題の中に、中等以上の男子學校に於て婦人に對する禮儀道徳を敎授するやう學校長に要望すること、といふ一項があつた。其の答申案として『男子中心の思想の誤りなることを知らしめ、婦人輕侮の現狀を打破し、婦人の人格尊重の必要なることを今一層力說せられたし』といふのが得られた。此の內容の實現を中等學校、高等學校、專門學校、大學校及び青年團等に要求するのである。

由來日本の道徳は、二重道徳であつた。男子の道徳と、女子の道徳とは別箇のものとして取扱はれて來た。例へば節操といふことは女子にのみ限られ考へられ來つた道徳であつて、男子に就いては全く等閑視せられてゐる。實に偏頗なる道徳である。吾人は之を攻擊したい。法律亦女子に重き壓迫を加へてゐる。妻の姦通は夫之を告訴することが出來る。然るに夫の姦通は妻之を告訴することを許されてゐない。男尊女卑の傳統的弊風は、如何に道徳を紊り、法律の價値を減殺してゐるか。男子をして恥を忘れしめ、女子をして卑屈に走らしむる。小にしては個々の交渉の不純化であり、大にしては一國文化の墮落である。

□女子をして語らしめよ

男子は兎角禮儀作法を輕んずる風がある。男子なるが故に禮儀を輕んじて好いといふ理由はない。禮儀は國民として、男女共に重んずべきものである。女學校に於ては、男子に對する作法を敎へてゐるが、中學校に於ては女子に對する作法を敎へてゐない。少年より成年への過渡期に在る中學生に、女子に對する禮儀を敎へることは極めて必要であると信ずる。此の時代から女子に對する禮儀を敎へることは、男尊女卑の傾向を矯正するのに妙であらう。

其の一方法として、女子の意見を聽くやう氣を付けることにしたい。女子が意見を吐露すれば、何だ女の癖にと頭から相手にしないのが、兎もすれば男子に有り勝ちな風習であつた。故に改めて女子に物を言はせる雅量を持ち、且つ其の意見を樂々と發表させるやうな態度を取るべきである。女子殊に若い女子は羞恥心の強いものであり、男子は女子の恥態を見て興じたがるものであるが、斯うした態度は女子をして意見を述べしむるに當つて、固く禁ずべきである。

男子は女子の前に出ると妙にはしやぎ出し、或は女子にからかふやうな態度に出たがる。これは女子を侮辱すると同時に、男子自らをも侮辱するものであるか

ら深く注意べきである。

酒を飲んで女子の前に出ぬやう、又女子の前で酒を飲まぬやうにしたい。酒は兎角惡い結果を殘すものである。女子の前では煙草も喫まぬやうにするのが理想であるが、これは非常に困難であらう。禮儀の八釜しい外國に於てすら、完全に實行されてゐないくらゐであるから。

男子は女子の前で、女子の極り惡るがるやうなことを放言し、又そんな樣子をする。最も輕い例が臆面もなく裸形になることである。亦禁ずべきである。

□良夫賢父の心得

男子は禮儀作法の教授の內容は如何にすべきか。妻として、母としての心得が必要てあるならば、夫として、父としての心得が等しく必要てあると云ひ得る。これが作法教授の中核をなすものてある。男子は之を會得せねばならぬ。良妻賢母の熟語はあるが、良夫賢父の熟語はない。男子は悉く良夫賢父たるの資格あるが故に此の熟語なしとは受取れぬ以上、其の心得を知ることを要する。女子輕侮の道德を處理して、然る後に

法律の改善に及ぶべきである。何となれば法律は常に道德より遲れるものであるからである。併し、現在の婦人を輕んずる法律は速かに撤廢すべきである。治安警察法第五條の撤廢などは我意を得たものであるが、婦人自らも萬事あの意でも欲しい。法律の問題は、民法審議會から、段々調査の歩を進めてゐるらしいから、いづれ具體的の結果が得られることとであらうと信ずる。

人心の不安

山室軍平

大正七年には、猫いらずをのんで死んだ者が唯三十幾人かであつたが大正十年には千何百人に達したといふ話を聞いた。自殺する者あり、情死する者あり、他人を殺害する者あり、發狂する者あり、犯罪する者あり、物騷とも、不安とも、いひ樣のない世の中である、一體どうしたらば世の人はもつと安心して世渡りをすることが出來るであらうかといふに、それに就いて、何より大切なるは、眞の信仰を獲得するの一事である、私が言ふのは、人が其の罪惡を悔い、基督を信仰して、天の父なる神に信賴し奉ることの必要である。

何んといふても、人に最も多くの心配苦勞をさするものは、其の人の罪である。生活難は苦しい。病氣はつらい、しかし乍ら一番苦しく、且つ凌ぎにくいものは人が其の罪惡ゆゑに招いだ禍である。罪惡には、互に心の苛責がつきしたがふものである。罪惡には恥辱と、失敗と、困難とが伴ふものである。罪惡ゆゑに家庭は亂れ、社會は煩ひをうけ、子孫は落ちぶれて、其の人の靈魂は滅亡に至るのである。使徒パウロが「罪の拂ふ價は死也」といふたのは眞實の事である。

さり乍ら悔改めて基督を信仰するとき、凡ての罪は赦されて、私共は新に生れた人間となる、隨つて私共は內に疚しき所なき生活を營む者となり、自然に大概の煩悶苦慮を免るゝやうになる。グツトウインといふ人の言に、「罪は悲しみを世に齎らした、その如く悲みは罪の世から逐ひ出されればならぬ」とあり。これは私共が罪を悲んで基督にすがり、其の御力によりて、罪から救はるべきことをいふたものに外ならない。

神を信仰する者には、又如何なる場合にも、明るい希望がある。それ故どんなに行き詰つたやうでも、必ず其の間に脫け道を見出すものである天路歷程のクリスチヤンは、あはてさへせれば落膽の沼にも踏石を見付け、安らかに其の上を步くことが出來た筈であつた。其の如く基督を信仰する者は、如何なる暗い中にも光明を認むるものである。どの樣な難儀苦勞の中にも、神によりて望を抱くものである。テーラーの言に「希望は天の使の翼の如く、能く中天に翔り、私共の祈を神の御座に送り屆ける」とあり。私共は神に望を置く故、失望することなく、沮喪することなく、如何なる場合にも喜び勇んで、人生の行路を續けることが出來る。それ故不安なく煩悶なく一生を送るには、唯速かに悔改めて基督の救を受くるの他はない。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

恐るべき社會の誘惑

滿鐵社會課長　牧野虎次

歐米人の簡素なる婚葬にカーネギーの奥床しき遺言

最近歐米より歸朝した友人に面會して種々珍しき話を聞き、又自分も感想を陳べたが、端なくも話が葬式のことに及んだのである。そして我が國の大政事家たる大隈侯の國民葬の盛大なりしことや、國家の元勳たる山縣公の國葬の堂々たる話より、米國の葬式の話に轉じたのである。嘗て米國の大統領であつたローズベルトは實に偉大なる政事家であり、日本の大隈侯や山縣公に匹敵すべき人物である。又彼れが政事家とならざる以前には莫大なる資産を有する富豪として有名であつた。然るに彼れが永眠して葬式を執行する場合に、その葬式の費用は驚く勿れ僅かに百弗に過ぎぬのである。由來米國では葬式を營むにも極々の近親者や眞の親友だけで濟ませると云ふことになつて居るから、日本の樣に大騷ぎもせず、又費用もかゝらぬのである。又日本の安田善二郎翁よりも幾倍と云ふ財産を有する富豪であるカーネギーは昨年か一昨年死亡したのであるが、其の葬式は遺言に依り之を密葬とし、送葬者僅かに十何人と云ふ少數であつた。そして其の墓は立派なものであるかと云ふならば、一つの石ころが置かれてあるだけで、その墓場の所在地をも世間に知らせぬ位である。然るに今迄此カーネギーより直接間接に恩誼を受けたる者が、何千人何萬人の多くの人々があるので謝恩の爲めに墓詣りをする精神で墓の所在地を使や書面を以て尋ねると、同家には一人の係員が居つて、主人の遺言であるから、若しも恩返しをして下さる御志があるならば、主人の墓を見舞ふ爲めに、時間と費用を消費する替りに、世の爲め社會の爲めに盡して呉れと一々返事してゐるとのことである。

由來歐米諸國では婚禮や葬式は公けにせぬことになつてゐる。死亡廣告の黑枠付きは日本の特有である。現代の如き多事多忙なる世の中には、此婚葬の如きは成る可く簡短にする必要がある。それであるから歐米諸國では極親密の者が集つて其の式を濟ませるのである。日本は婚禮の如きも堂々と知己友人に招待狀を發して帝國ホテルとか其の他の場所で盛んに披露する。葬式も例の黑枠廣告及通知狀で知らせるのであるから、多くの人々が葬送して丸で御祭り騷ぎとなるのである。又英米等の國々では祖先の墓を大事にし之を綺麗にする。日本は祖先崇拜を主張する國柄であるが、其の割合に墓が綺麗でないのは不思議の至りである。

世界一の物價騰貴國と放縱なる飲酒の國

又西洋では公共の爲めに盡すと云ふ心掛けがあるから、妄りに暴利を貪ると云ふ樣なことはない。例へば地所の價額の如きは生活上肝要のものであると云ふ見地よりして、妄りに暴騰せしめぬので

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ある。それ故にさう高價なものではない。然るに日本は地所の價額が著しく騰貴して居ることは世界一である。其の他の諸物價が騰貴して居ることも世界一である。そして獨り裝飾品のみならず、生活上の必需品たる食料品等でも非常に高價である。英國のマンチエスターに製出せらるゝキヤラコ、カネキンの如きは、品質が日本の製品などよりずつと佳良であつて、運賃や關税を掛けて日本へ持つて來ても日本の製品より低廉である。日本の職工などは歐米の職工に比し勤務方が眞劍でないのみならず工賃が高いから、其の製品が高價になるのは當然である。又今日世界中日本だけで世界の仲間はづれのことがある。それはアルコール含有酩酊飲料即ち酒類を勝手放題に飲み得る國は日本だけであると云ふ一事である。米國や芬蘭は禁酒國である。英佛獨其の他の諸國は夫れ〳〵取締の方法が設けられて居る。

今一つの事を申すならば、現今の文明國で遊廓即ち女郎屋を公けに認めて公許してゐる國は日本だけである。吉原と云ふ言葉は世界中に通じてゐる。凡そ日本の言葉の内で世界に通じてゐる言葉が五つある。即ち吉原、藝者、腹切り、大名、士である。何れの國の辭書にも此言葉が出て居るのである。即ち日本の酒と男、女が世界から別扱にせらるゝのである。日本は世界の特殊國であり、仲間はづれをしてゐる國である。米國が禁酒になつた。然し實は禁酒でなく、酒は男が樂しみ女子供が苦しむから、酒を絶やす精神で無酒の憲法を制定するに至つたのである。男に酒を飲ませる女は第一に娼妓であるが此娼妓は日本内地の總人口五千七百萬人の内最近五萬人ある。そして藝者は六萬人、酌婦は六萬人以上計十七萬人ある。其の筋の調査洩の曖昧女及それ以上の密賣婦は少なくとも十萬人以上あるから一口に言ふならば、男に酒を飲ませ墮落せしむる所の賣春婦が三十萬人近くあるのである。

三十萬人の賣春婦と十五億圓の遊蕩費

然し單に是れだけを申すならば深い感じは起らぬけれども、眼を轉じて他の方面を觀察して比較するならば思ひ半ばに過ぐるものがある。例へば官公立の女學校生徒、即ち將來眞の良妻賢母となるべき者の數は何程であるかと云ふことを考ふるならば、十一萬何千人と云ふ人員があるだけで、十二萬人には滿たぬのである。又女學校の先生は五千七百人あるだけであるのに、貸座敷の樓主だけでも一萬人あるから、總ての賣春婦三十萬人に對する樓主は何萬人あるかを考ふるならば、隨分多數に上る計算となるのである。又遊廓に於ける一ヶ年の遊び人の數は、勿論男のみであるが二千四百萬人ある。此遊び人は何處から來るかと言ふならば日本總人口の半數中二十歳以上六十歳迄の登樓して遊蕩すべき可能性の者より來るのであつて、其人員は千三百萬人しか居らぬ。之は品行方正なる者も、病氣の者も總て突つ込んでの數であるから、此總ての人々が一年に約二度遊んだ計算になるのである。

そして遊蕩費の屆出高は六千五百萬圓であるが、之は實際の費消高よりもずつと少なくして屆け出づるを常とするのであるから、屆出額の二倍と見れば一億三

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

千萬圓が娼妓を相手に費消つた金額である。藝妓や妾等に對しては娼妓以上に多くの金を費消ふが、假りに之を娼妓と同等と看做しても、密賣婦全體として八億から十億の金を費消する勘定となるのである。又三十萬人の女の大部分は金に窮してゐるから、樓主から前借をして居る。その前借金は何程であるかと云ふならば少なくとも一千圓から二千圓を借りて入れ上げて居るから、總額五億前後の金が寢てゐる。然るに日本の政府が、やつさもつさと大騷ぎをして居る軍費は僅かに七八億圓に過ぎぬのに、今申した醜業婦に依つて費消する金額が十五、六億圓の巨額であつて、此酒と色との爲めに首縊りであるとか、鐵道往生であるとか、裁判の係爭事件であるとか、忌むべき病氣であるとか其の他種々なる事件が發生するのである。一般に軍費は大問題の樣に思はれて居るが、假りにそれを半減するとしても三億餘圓に過ぎぬ問題である。之が爲めに日本の當局や在野政事家が此問題に熱中して居るのは、單に其の金額の上から見るならば、只今申したる遊蕩費の何分の一にも過ぎぬのであるから、日本の政事家が誠に吝臭い樣な感じがするのである。

新聞廣告より見たる一外人の奇警なる日本社會狀態觀

此醜業婦問題は實に軍備より大なる問題である。吾々の頭上に懸る男の問題であり、女の問題であり、老幼に關する大問題である。吾人御互は此點に就て大いに留意し、改善向上の道を講ぜねばならぬ。又歐米では前に申す通り葬式は簡單であり質素であつて、日本の大隈侯の國民葬費十五萬圓、山縣公の國葬費八萬圓などを思ふときに、實に雲泥の相違であることを發見するのである。又或る外國人が日本の社會狀態を調ぶるのに如何にすべきやと一考の後、新聞の廣告の調査をした。一般の人々が高き金を出して廣告するのであるから、之を根據として統計的に調査するならば何等かの暗示を得らるゝと確信したからである。調査の結果最も多きは印刷物の廣告であることを發見したが、是れは同業者間の特種關係があるものと看做して、之を除外し、其の他の多數のものを四つに類別すると第一が酩酊飲料即ち酒類の廣告であり、次は化粧品の廣告であり、その次は賣藥の廣告であり、その次が黑枠付の死亡廣告である。此死亡廣告などは大阪の新聞などには半頁以上一頁位の紙面を埋めることが往々にしてある。

その外人が此調査の結果に依つて面白い斷案を下した。即ち申すのに、日本の男酒飲みます。日本の女化粧します。酒飲む男、化粧の女、賣藥用ゐます。そして死亡や葬式の廣告が出ますと。實に穿てる言葉であるとおもふのである。又日本人の壽命は近頃著しく短くなつたので平均二十九年何ヶ月と云ふ數字であるから、三十歲以上の人は大いに祝はねばならぬ。歐米は四十何年と云ふ平均壽命であり、國に依つては五十何歲と云ふ所もある。思ふに總ての事生命あつての物種である。酒や醜業婦に依つて樂しみ、身體を傷け壽命を縮むると云ふ事は、實に愚の骨頂である。願はくば諸君の愛國心に訴へ、此日本國を老若男女の住み心地佳き、淸くして氣高き樂園とするために御互に奮勵努力したい。（講演大要）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

藝妓と風紀問題

新眞婦人會長　西川文子

□妙な新聞廣告

先日、調べたい事があつて、古い地方新聞をめくつてゐる中、私は貸座敷業者が政黨員を招く廣告の出てゐるのを見て思はず吹き出しました。文に曰く「本年は國會開設の當年にもあり、從つていろ〳〵の御心勞も相出來候ことゆえ、御うさ晴らしかた〴〵御登樓もかんじんと存じ候云々」（明治二十三年某月某日、富山縣某新聞）後、數日、友人に此話をして「妙な時代もあつたものですね」と云ふと、友人は笑つて一枚の新聞紙を出し、「是れは今日の新聞だが、こゝを御覽なさい」と云ふ。とりあげて見ると、何案內とあつて、其中に左の如き廣告が出てゐました。

藝妓マルカヽヘにてもワケ七三、素人にてもよろし、十五六歳より廿五歳迄本人來談

藝妓入用シコミスミカヘ十四歳より至急本人來談

半玉しこみ藝妓しこみ入用十二歳より本人來談

是丈けではなく、同じ藝妓の募集廣告が澤山載つてゐました。私は強いて「昔に妙な時代があつた許りでなく、今も尙妙な時代ですね」と思はず嘆息しました。

以上二つの新聞廣告を讀んで、讀者はどうお考へになるでせうか。私は日本と云ふ國は妙な國だと云ふ事を思はざるを得ません、前の政黨員を招く廣告は、古い事であるから別問題として、後の藝妓募集の廣告は、昨日今日盛んに行はれてゐる事です。斯うした廣告が、公然新聞紙上に掲載される事に對しては、私共婦人側から極力反對の聲をあげなくてはなりません。

昨年も、東京市內で一流の某高等女學校を卒業した許りの若い婦人が、何不自由ない家庭の令孃であり乍ら、自分から進んで藝妓になつたと云ふので大分問題になつた事がありました。

敎育がある何んのと云つても、生活の苦勞を經ない若い娘さんの心は、眞に淡い浪漫的なもので、反逆に劣らない、否、それ以上の綺麗な衣服を着たいとか、友人の誰彼がダイヤ入の指輪をはめてゐるから、どうかして自分もはめて見たいとか云つた樣な要求が割合に強いものです、斯うした虛榮心を多分に持つてゐる若い婦人は、誰だつて時折は兩親から買つて戴いた衣服に、不滿を感ずる事があるでせう。何不自由ない家庭に生れ、自分の望む物は何んでも買つて貰へると云ふ幸福な境遇にある者は滅多にないのですから、斯うした不滿を抱くのも又やむを得ない事であるかも知れません。

斯うした不滿は、若い娘に共通の心理だと云つても決して過言ではないと思ひますが、是らの若い婦人にとつて最も誘惑になるのは、綺羅びやかに着飾つてゐる自分と同年配の若い同性を見る事では

なからうか。其の時誰でも羨しいと云ふ氣分が起るに相違ない。けれどもいくら羨んで見た處が、自分の家庭に金庫の二つ三つも備へてゐると云ふ富裕な家庭の令孃でもない限りは、眞似をするなど云ふ事は到底出來ない相談です。

是なくてさへ虛榮心の強い婦人を刺戟して、益々虛榮心を增長せしめるものは藝妓の存在であらうと思ふ。彼らが男性の醜い慾情の犧牲となり、婦人にとつて唯一の誇りであるべき筈の貞操を賣つた報酬として、我國のやうな貧しい國では貴族でなければ眞似の出來ないやうなあらゆる贅を盡した衣服を身に纏ひ、白晝公々然と人の目に觸れ易い處へ出て來る劇場や多數人の集つてゐる場所などへ練り步いて來る事は、愈々若い婦人の奢侈性を刺戟し虛榮心を增長せしめると云ふ結果になるのではないでせうか。事實、衣服の模樣や何かの流行は重に藝妓から始まると云ふ例に見ても、決して是は私一個の考へとして否定すべき事ではないと思ひます。

□國民全體の道義問題

「藝妓になりさへしたら、あのやうな綺麗な着物を着て每日遊んで暮らす事が出來ると」云ふ誘惑を、ふと心の中に感じたとすれば恐ろしい事です。さう云つた心の動搖してゐる際に、うか〳〵と藝妓募集の廣告を新聞で見たが最後、親でさへ知らないでゐる間に、飛んだ「本人來談」の一幕を演じないものでもないでせう。女學校迄も出たと云ふ婦人が、自ら進んで藝妓になつたと云ふ事も、或ひは斯うした處に原因があるのではないかと云ふ事を私は深く恐れます。

ですから、少しおせつかいのやうではあるけれども、斯うした廣告を揭載する事は、社會風敎の上から考へて輕々しく看過する事の出來ない事ですから、成るべくやめて欲しいと思ひます。たとへそれを載せる事が、「營業政策上已むを得ず」との理由があるにもせよ、自ら社會の指導者を以て任ずる新聞紙は、斯うした廣告を拒絕する位の權威があつてもよいではないでせうか。

それも是も、詰る處は國民の良心の麻痺してゐる事に原因があるのです。一國の政治を司つてゐる內閣總理大臣を始めとして、卑しくも文敎の府の主權者である文部大臣迄が築地の何とか云ふ待合に集つて、藝妓のお酌で親睦會を開いたとか云ふ事が公然新聞紙によつて傳へられ、然も、其時の情景だと云つて藝妓と一緖に撮つてゐる寫眞が翌日の紙上に揭載されても、誰も怪しむ者がないと云ふのは如何に良心の麻痺し切つた社會でせう。

凡そ我國の過去に於て、こんなに國民の良心の麻痺した時代があつたでせうか。今にして國民の良心を覺醒するの運動が起らなければ、日本は亡國の外なきに至るでありませう。

それと共にお互個人々々が只自分一人丈けの事を考へる、自分さへよければ他人はどうなつてもいゝと云つたやうな、考へ方ややり方をしないでもつと他人の事も考へる。社會の爲めに働くと云ふ事が必要だと云ふ事になつて來ます。

どうも私共日本人は社會の共同責任と云つたやうな事に就て徹底した考へがないやうに思ひます、ですから社會の風敎とか云ふ問題に就ては興味がないやうです。私共はもつと〳〵此社會の風儀をよくする爲めに働かなければなりませぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

驚く可き吉原病院檢梅の內幕（下）

內務當局及警視廳の凡暗
謎の世界吉原病院日誌（十四）

元吉原病院看護婦　瀧原和子

私はもつと恐るべき實證（檢黴無效の）を擧げませう。

それは當局者同志でないと、どうも內情を知らぬ第三者方には、お話しても譯が分り兼ねるかとも思ひますが、之も參考の一つ、先きに檢査醫の、見落し多き事は既に、廓清誌上に娼妓病院手記として載せられてますので、今度は娼妓自ら非常に巧みな方法で入院を逃れる道を話す事にしませう。

それは檢査に先き立つ事一夜か又は檢査日の朝早く係りの人の許に行きて檢査濟の札（健康と燒印の押しある小さなる木札にて、是が檢査を受けて通過したといふ標になる物で、それを取扱ふ人の事）內所で貰ひ置き、今日は入院の恐れがあるといふ樣な時（甚だしい者は客がゐて檢査を受けに出るのが面倒だと云ふ者もあるとの由）朋輩に札だけ賴んで、自分は全然檢査場に顏を前さぬまゝ、檢査をすまして了ふのです。どうしてそれが私等にはわかり又、檢査醫には、わからぬかと云ふに、やはり、私、檢査醫轉勤して初めの頃であつた。二三の娼妓が時々、もう歸院する時分（洗滌濟まして出張所より病院に歸る時）になると、尋れて來ては「今迄の看護婦さんは斯ふ斯ふして自分の受け持ち遊廓から、入院を防いでゐた。だからあなたも私等に同情して便宜を取つて下さい、一度のがして貰へば此次の檢査迄には、きつと癒るのですから」と。私、其最初の日、隨分妙な習慣のある所だなあと思つたが、いくら所が違へばとて、それでは何の爲に檢査があるかわからないではないか。と云つて之を拒んだら、氣短い一人の女「ようござんすよ、あなたがして呉れなくても戸棚の鍵はこゝの遊廓事務所內の姉さんが持つてるんだから、他の人は姉さんにこそ賴め、あなたにこんな事、正直に云ふ人ありやしないわ。あほらしい、それでなくてもあんなに檢査は早いし、札はポン〳〵投げる樣にするんだもの、人の分を拾ふといて自分の惡くなつた時逃がれる者が隨分あるもの」と「さう云へはなる程、私だけいくら嚴格にしたからつて、つまりやしない、おまけには、さんざ憎まれてさ」と、若年の悲しさ、正義の眞義をわきまへ得なんだ。當時の私はと云ふと、之に釣り込まれて了ひ、さうれ！、半年も其上も、ずる〳〵に「今日は國元から親が話に來てるからどうしても、入院すると都合が惡いので助けると思つて……」とか「今少しで年明になる所だから、お慈悲にとか云つて來るまゝに、札を與へてゐた所、如何に人數が多い（三百餘名中）とは云へ、其割合に入院少なき爲か。檢査醫も氣がつき、某日「田口と樓主が腹を組んで、娼妓を逃がしてる云々」と申された。娼妓とな ら兎も角、樓主なんかと思ひ隨分と癪に觸つたが、まあいゝ、今にわかるから、今の所私一人が罪を負ふておけば……と、先生に「ではこんな、害を除く爲、先生のお氣の召す樣に嚴重に取締つたら、どうです、私は助手してる上に、札までよう配りません」と云つたので、それからやうやく少し許り嚴しくなりました。是を機に私は一切、健札には關係せぬ事にし、專ら役員連（樓主組合より選ばれた者）が取扱ふ事になつた。私は此時程、ホッとした事はない、肩から重荷が下りたとは、眞にこんな氣だらうと感じたのです。所で神經といふものは妙なものですれ！」それからずつと私の辭めるまでが、二年餘りでしたが、健札に關しての件は、以前より容易になつて、甚だしくはあつても、決して減じてはゐない筈だのを、檢査醫の方では一向に、お氣が付かず、もう大丈夫と思ひ込んでらつしやるので、餘り入院の少ない時（三百名許りの中、其前は少くとも（盆正月前を除く外）平素、五六名乃至十名近くあつたのが、此時分は三四

名乃至一名もない時があつたので）は助手してる私に向つて「此頃は成績がいゝわね！、傷など一つもないてはないか」と（傷とは梨瘡、軟硬下甘疳ひつくるめて云ふのである）仰つて、ホク／＼してらつしやる。しかし此場合先生では、洗滌の效果を賞して下さる御厚情なのだから、私、面と向つて「いゝえ先生、蔭でまだ欺むくカラクリがあるんですよ」とは、どうも云ひかねてゐたのでございます。又事實、洗滌治療といふ物が满更ら無效ではなかつたのですから。どなたかの說を眞似るではないが、大平洋中、一滴の水を注いだ位の事は、たしかにありました。しかし其裏面にはびこつてる罪惡と、社會に流しつゝある恐るべき害毒には、とても／＼比較は出來ません。

右に就いて私、在院中にひかへてゐた日記帳から、面白い實例を一つ二つ舉げて見たいと思ひます。

大正八年一月十七日夜、今年の初週祈禱會を終へて、教會より歸院、足音しのばして廊下を過ぎ巳が室に入つた（何故足音しのばせるかは、平素ひまの時、教會で聞いた話を患者に聞かせつけるので、中には、明くる日を待ち得ずして、教會に行つた其夜、私の歸りを待ち兼ねて、聞かせよ、と呼び止める者があるからである）。今宵はいゝ鹽梅に誰も後追つかけて來ないと安心し、床を延べてたら、今日入院した所の滿楮……手紙の依賴に來た、そして小さな傷で入院した事を頻りに不服がましく訴へ、遂には「田口さん事務所の姉さんもあんまりだわね！、私んとこの伊呂波姉さんなんと、もう去年の七八月時分から、ずつと札を貰つて檢査を逃がれ、一度だつて檢查臺には上らないで濟まさしてさ、私がたまに、こんな小さい傷を受けて、姉さんに賴みに行けば、けんもほろゝの斷り方をするんですもの、いくら私が馬鹿だつて、腹が立たずにゐられますか。あなたがよく「幸亭の人は一人も洗滌に來ない、どふしたのかっ」てお聞きしてたが、考へて御覽なさいな、いつもこんな事で欺して來てるのですから、洗滌に出て顏見られるのが恐ろしいんですわ、何か云はれやしないか、もう氣付かれてやしないかと…れ！。そりやほんとにびく／＼してるわ」と。倘樓主の殘酷な取扱ひ振りをこま／＼と物語つた。

一月二十六日、今日も一日單純な生活を終へて歸らむとする時、さすがは遊廓を以つて有名な市だけに、花柳新聞となむ云ふ所の新聞さへ發行されてる、それが、階段の下にあつたので、何も參考と思ひ、餘り熱讀してた故か、玄關出るに際し、新聞と共に戶棚の鍵を持ち歸らむとして、それと氣がつき驚いて姉さんに渡したら、「ホヽ、田口さん持つてお歸りの、あの札も……」と仰る、私は其刹那、おかしくも腹立たしくも感じたので「姉さん、あなた妙なこと云ふのね！、今日に限つて、ホヽ今つ頃そんな事仰らなくてもいゝわよつ」と、少々こちらからも皮肉つたので、向ふも餘程面喰つた樣にハツとして、こんどは頻りと「田口さん、新聞がまだほかにもあるよ、持つてお歸り」、なんて機嫌を取る。その可笑しさと云つたらなかつたのである。つい先日も、是れと類似の事柄は、勝盛樓の勝次さん……に洗滌の時「隨分久し振りね！、それはさうと、あなたも大變長くつとめてる樣ぢやないの、かたぎになりたいてせう。こんな商賣ほんとに長くしてる物ぢやないわ。世の中の爲と云つたら、何一つだつてならないし、自分は體を痛め、罪は作つてさあ」と云つた所、「田口さん、私一人ぢやないわよ、みんなやつてるぢやないの、あの札の事でせう」と。私は餘り意外の方面を向ふから云ひ出したので「何ですつて……私札の事なんか云つてやしないわ、札は私の關しない所ですもの……あなたがたの身に付いての事よ……」と云ひ流したら、始めて「アラ……さう……私又……日頃おじ／＼して罪を犯してるから、テツキリあなたから刺されるんだと思つたのよ……」と。向ふ傷あれば當りが早いとは此事だと、泌々思つた。

附記、本記事中に（盆正月前を除く外……）と何故之を別物扱ひに私等がしてゐるかと云ふに、盆及正月は、彼の社會に於て最も客多く、繁昌する時季なれば、樓主側でも、もう其一と月位前から、檢查醫が大目に見て、逃して吳れる物と思ひ、又檢查醫や私等も、眞に大目に見、入院者は入院者で又、どん／＼減すと云ふ方針を取つてゐるから、此前は殆んど一人か二人或は一人も取らない事が、再々あるからです、其代り、其時季を取り越せば一時に、十人も二十人も取ります。

◎大阪府下に於ける昨一年中の花柳病の豫防と治療に用ふる賣藥の販賣高を府の衞生課で調査したところ、賣上高百五十六萬九千三百六十餘圓といふ驚くべき數字が出た、其の內價格の多いのは油類を主藥としたもので、これに附隨して花柳病豫防用器具の賣上高も十四萬六千三百餘圓に上つて居る、以上は內密の治療に供した賣藥のみだから、此の上に府下六百餘の專門花柳病醫師の手を經て消費する金額を計上すると莫大なものになる、そしてこれ等の病毒を主として傳播する遊廓で昨年中に費消された金が花代だけでも、大阪市內五遊廓で約一千五百萬圓、郡部が三百五十萬圓、遊客延人員合計四百萬人に達してゐる。

大正十一年七月十三日印刷（每月一回十日發行）
大正十一年七月十五日發行（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　小石川區大塚町四十一番地　伊藤秀吉
印刷人　本鄉區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本鄉區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町七番地　廓清會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

●御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ●

酒きらいになる薬

禁酒丸

一週分　一圓五十錢
二週分　二圓八十錢
三週分　四　圓

どんな酒煙草のみても害なく心からきらいになる。
郵券二錢送れば説明書及大得博士其他名士の

禁酒論（禁煙）進呈

禁煙散

煙草きらいになる薬

金壹圓　金貳圓　金參圓

本舗　大阪靭南通二丁目　森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

産婦人科。小兒科

女醫　吉岡彌生（烏山改め）

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり臨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

新刊

侯爵　大隈重信序
博士　プリンス・マロー著
文學士　小松武治譯

健康と性慾

三六版百七十頁
特價三十錢税四錢

廓清會本部發行

中元御贈答品は三越◆◆

よい品で、何人にも喜ばれる品は、三越呉服店の品であります、殊更に今年は、中元御贈答品として、最も御恰好な品が、澤山取揃へてあります

◆中元格安反物賣出し……七月一日より、中元の社會奉仕の爲めの催です

◆夏座敷用品陳列……七月六日より、文化的生活に必要な品々の陳列

◆運動展覽會……七月十九日より、體育改善の目的の展覽會です

◆◆商品券は東京、大阪、京城、大連の三越の何品にても御引替が御自由ですから中元御贈答品には非常に重寶されて居ます……

東京 三越呉服店

◆七月の定休日は二十五日のみ十日はお盆の御買物の爲め休みません◆

美髪衛生を

重んじらるゝ智識階級の御婦人は頭を軽快にして毛髪を自然のまゝに黒く美しく床しき芳香を與ふる

かをりよき

千代田香油を

お召しになります、又男女共通の美髪料としては毛髪のクセ、ネバリを去り美妙なる光澤を與へ人品を高むる

千代田ポマードを

御採用になります

千代田ポマード
千代田くせ直し

本舗　東京日本橋馬喰町四　山岸三之助

電話浪花三七九三番
振替東京二〇五〇〇

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」によると旨御申越を乞ふ●

（大正七年十一月二日第三種郵便物認可）（大正十一年七月十九日印刷納本）（毎月一回十日發行）

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任）　醫學士　岡本鑑雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長

診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間両副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六二番　六三番）

東洋内科醫院

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋両副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎日午後　但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雜事婦